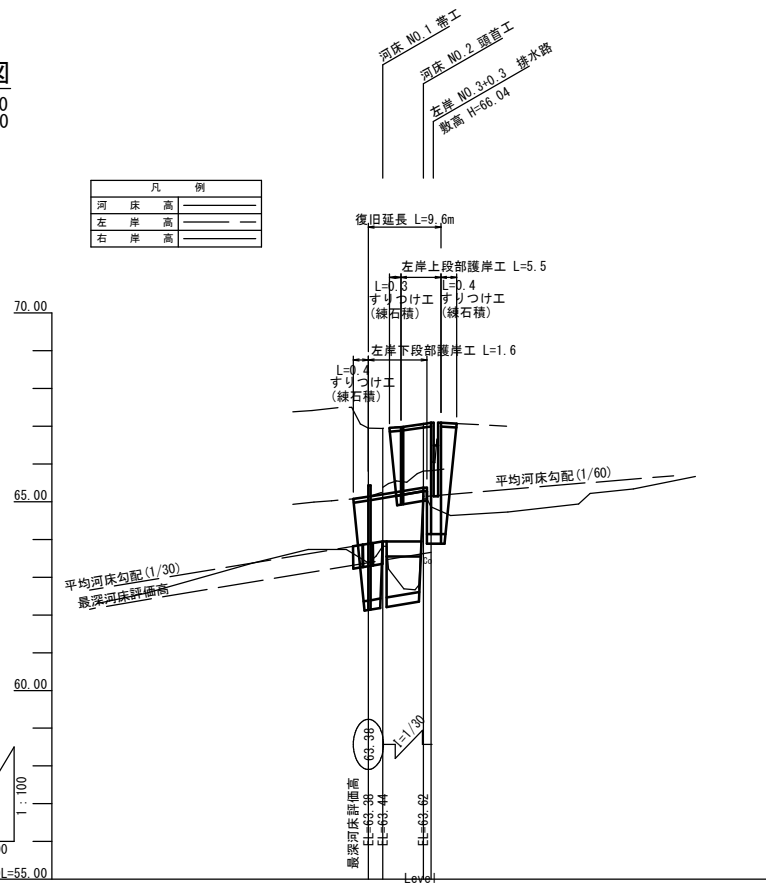


縦断面図

V=1:100
H=1:500

凡 例	
河床高	——
左岸高	——
右岸高	——

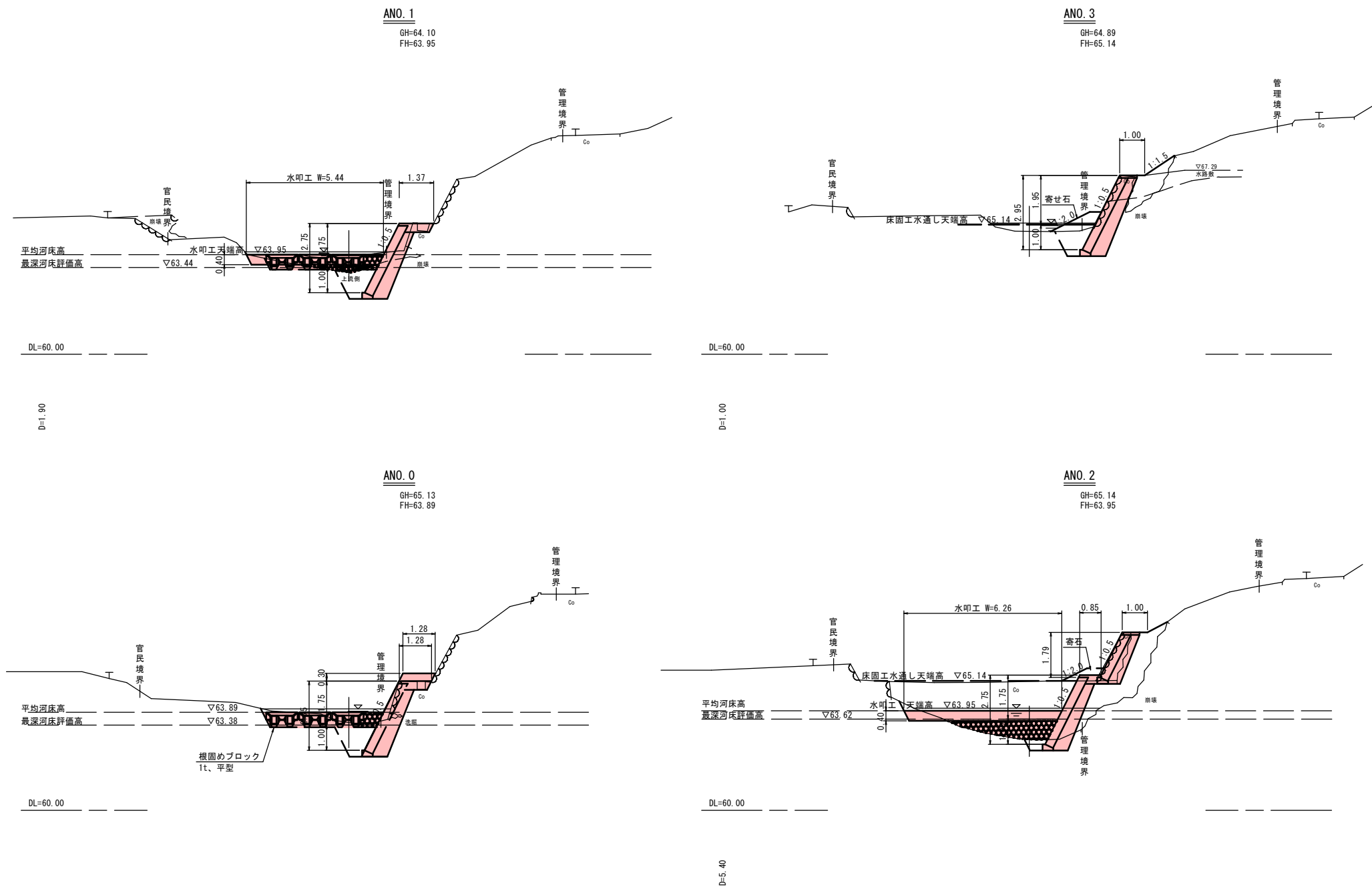


計	勾配 (平均河床)	1/30		1/60	
	左岸護岸高	65.13	65.19	65.07	65.70
	右岸護岸高				
現	基礎高	63.38	62.43	63.60	64.14
	左岸護岸高	(66.55)	(66.94)	(67.05)	(67.05)
	右岸護岸高	63.38	63.38	65.07	65.86
況	最深河床高	63.38	63.38	65.07	65.86
	追加距離	0.00	1.30	7.30	8.30
	単距離	0.00	1.90	1.00	5.40
測点		ANO.0	ANO.1	ANO.2	ANO.3

※()内は左岸高上段を表す。

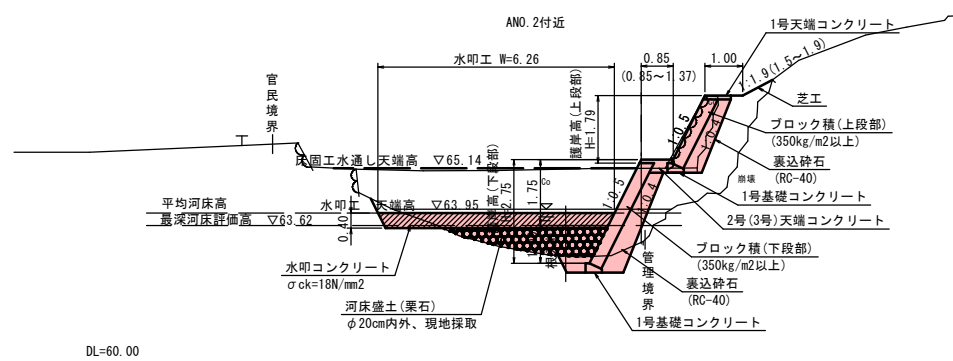
横断面図

S=1:100



標準断面図

S=1:100



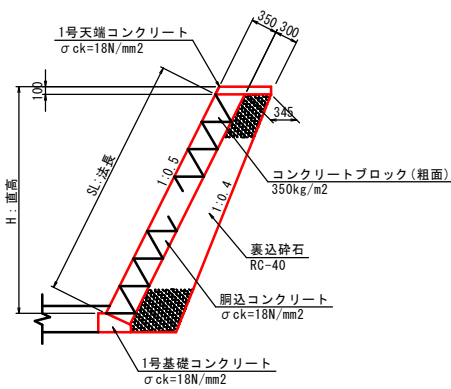
起工 R8

河川名	川上川(1工区)		
川上川外砂防設備修繕工事(補助)			
図名	縦断面図・横断面図・標準断面図		
位置	東伯郡湯梨浜町川上		
縮尺	図示	単位	M
図号	全10葉中の内2		
令和8年度施行			
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

※A3版縮小率50%

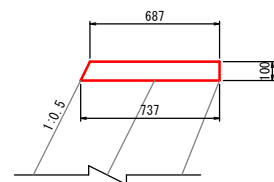
ブロック積(左岸上段部)標準図

S=1:50



1号天端コンクリート

BW5 S=1:20

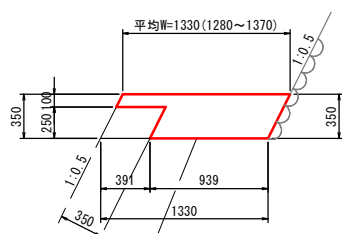


材料表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.712
型枠	小型	m²	2.118
目地	t=10mm	m²	0.071

2号天端コンクリート

S=1:30

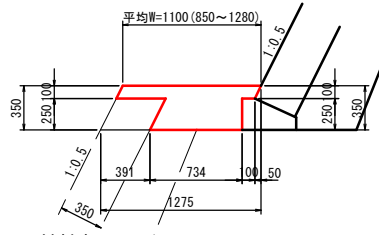


材料表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	3.678
型枠	小型	m²	1.118
目地	t=10mm	m²	0.368

3号天端コンクリート

S=1:30

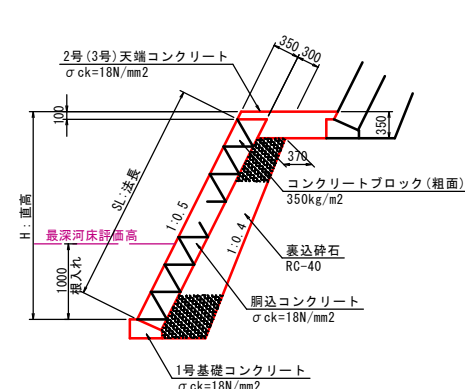


材料表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	2.779
型枠	小型	m²	1.118
目地	t=10mm	m²	0.278

ブロック積(左岸下段部)標準図

S=1:50

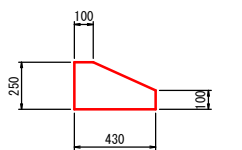


【ブロック積護岸の留意事項】

・護岸には、護岸高変化箇所を伸縮目地を設置する。目地には目地材(遊青質目地板厚10mm等)を入れる。
 ・護岸の水抜きは、2.0m²に1箇所割合で設置する。水抜き孔は、外形φ60mm、厚1.8mmの塩ビパイプ(Vu-φ50)を標準とする。なお水抜き孔からの裏込土流出を防止するため、護岸背面のパイプ端部に吸出防止材(150×150mm)を設置する。

1号基礎コンクリート

BW5 S=1:20

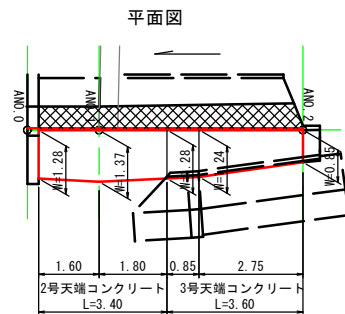


材料表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.828
型枠	小型	m²	3.500
目地	t=10mm	m²	0.083

2号(3号)天端コンクリート展開図

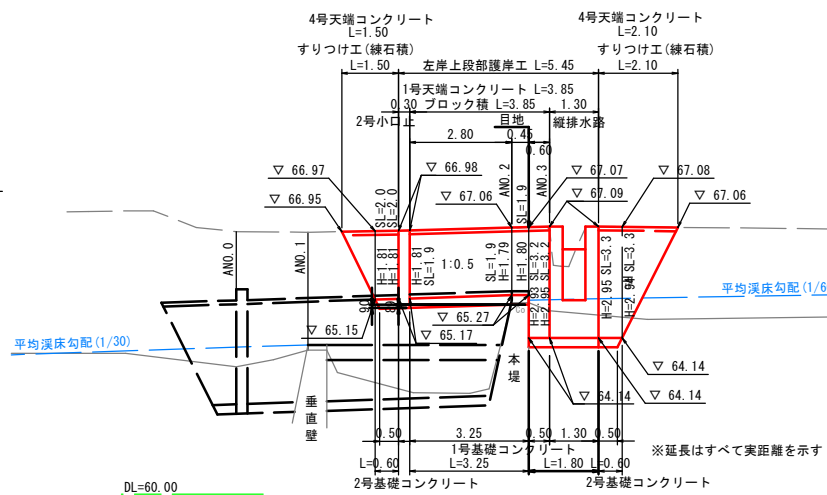
S=1:100



2号天端コンクリート平均幅:W
 $W = [(1.28 + 1.37) / 2 \times 1.60 + (1.37 + 1.28) / 2 \times 1.80] / 3.40 = 1.33m$
 3号天端コンクリート平均幅:W
 $W = [(1.28 + 1.24) / 2 \times 0.85 + (1.24 + 0.85) / 2 \times 2.75] / 3.60 = 1.10m$

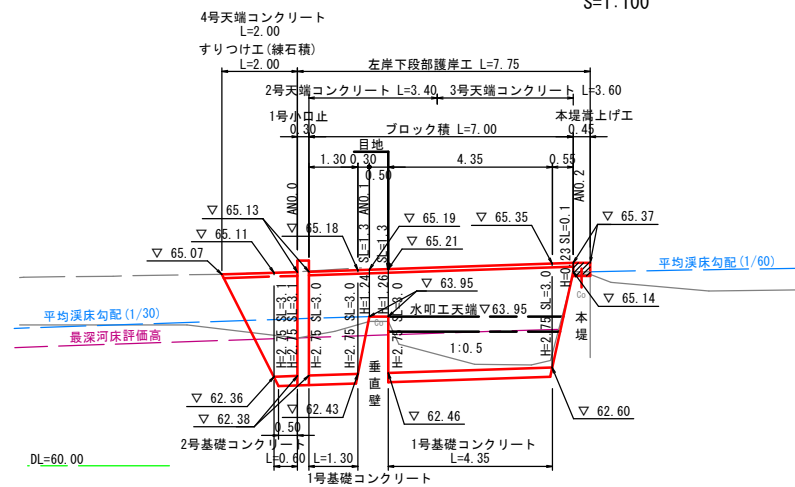
ブロック積(左岸上段部)展開図

S=1:100



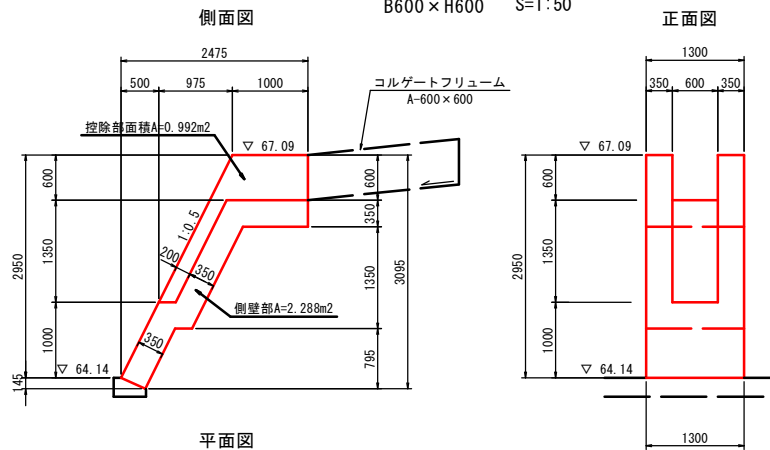
ブロック積(左岸下段部)展開図

S=1:100



縦排水路

B600×H600 S=1:50

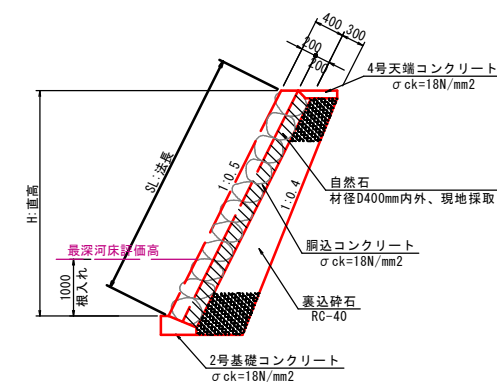


材料表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	2.379
型枠	無筋	m²	13.912

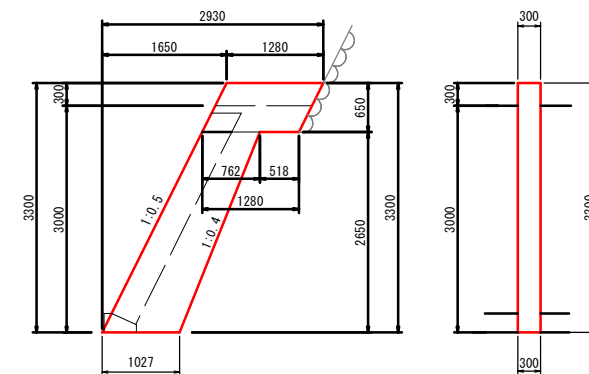
練石積標準図(すりつけ工)

S=1:50



1号小口止

S=1:50

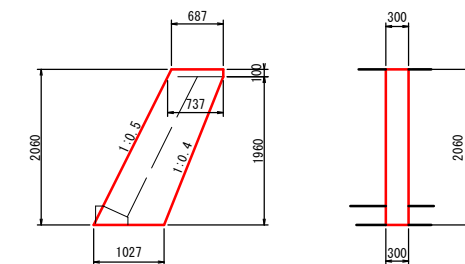


材料表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.961
型枠		m²	7.512

2号小口止

S=1:50



材料表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.540
型枠		m²	4.321

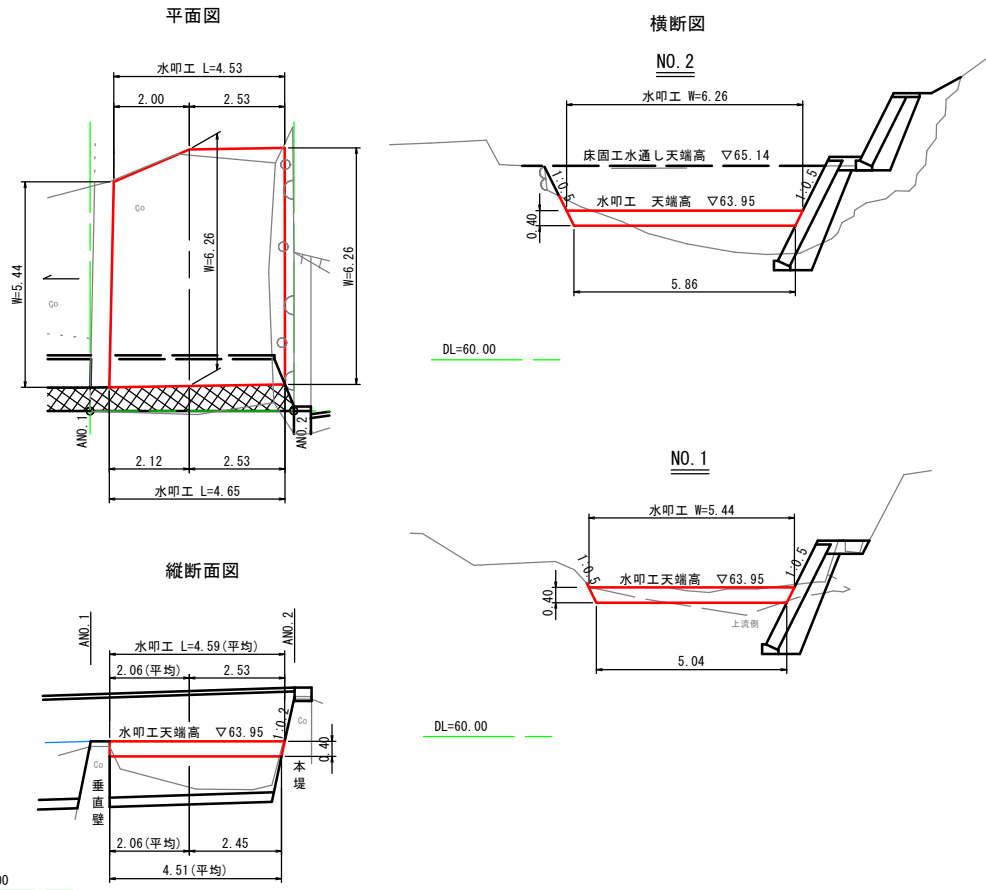
起工 R8

河川名	川上川(1工区)		
川上川外砂防設備修繕工事(補助)			
図名	構造図(1/2)		
位置	東伯郡湯梨浜町川上		
縮尺	図示	単位	M・MM
図号	全10葉中の内3		
令和8年度施行			
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

※A3版縮小率50%

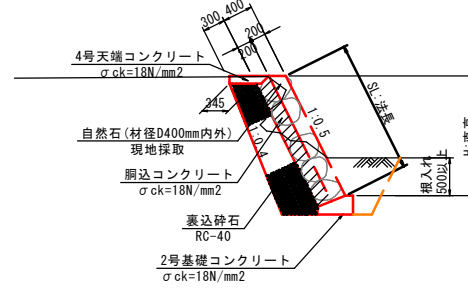
水叩工詳細図

S=1:100



練石積標準図(右岸側)

S=1:50

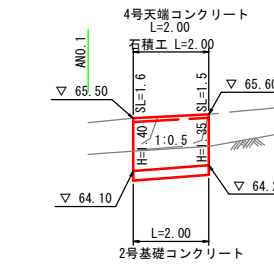


【石積護岸の留意事項】

・護岸の水抜きは、2.0m²に1箇所の割合で設置する。水抜き孔は、外形φ60mm、厚1.8mmの塩ビパイプ(VU-φ50)を標準とする。
なお水抜き孔からの裏込土流出を防止するため、護岸背面のパイプ端部に吸出防止材(150×150mm)を設置する。

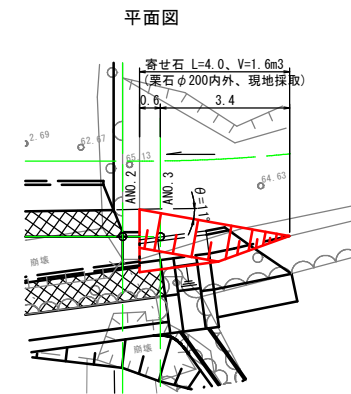
練石積(右岸側)展開図【参考図】

S=1:100



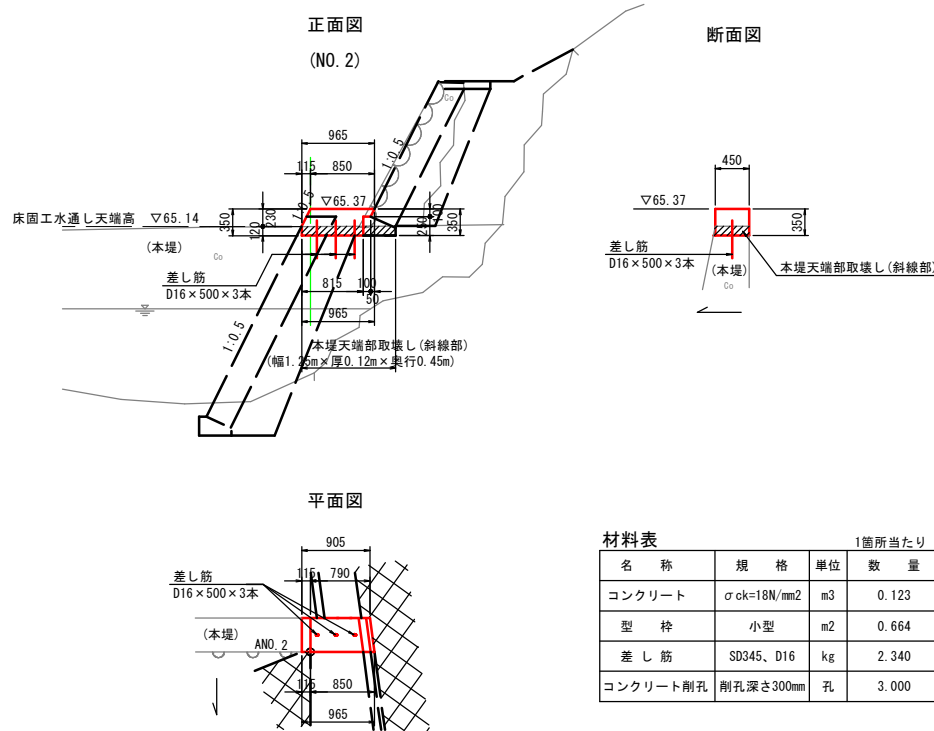
寄せ石

S=1:100



本堤嵩上げ

B450×H350×L850 S=1:50

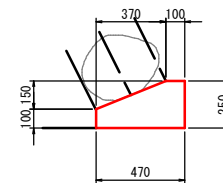


材料表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.123
型枠	小型	m ²	0.664
差し筋	SD345、D16	kg	2.340
コンクリート削孔	削孔深さ300mm	孔	3.000

2号基礎コンクリート

MW3 S=1:20

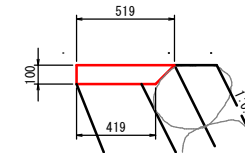


材料表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.898
型枠	小型	m ²	3.500
目地	t=10mm	m ²	0.090

4号天端コンクリート

MW3 S=1:20

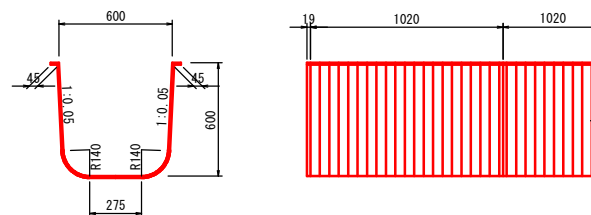


材料表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.469
型枠	小型	m ²	1.000
目地	t=10mm	m ²	0.047

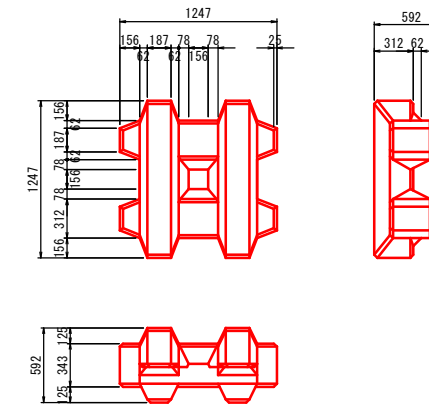
コルゲートフリューム

A-600×600 S=1:20



根固ブロック【参考図】

(1t、平型) S=1:30



材料表 1個当たり

種別	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.435
型枠	小型構造物	m ²	4.140

起工 R8

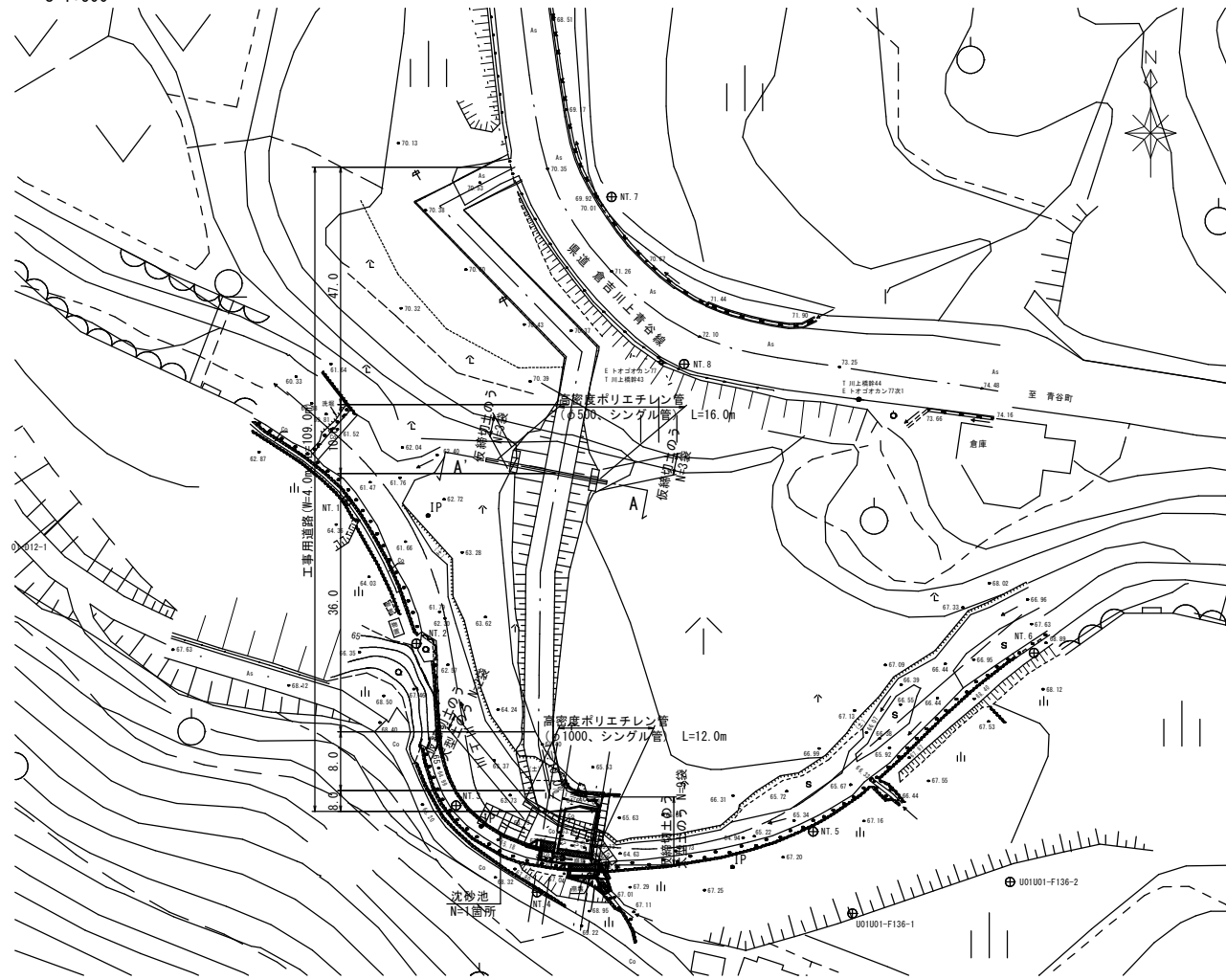
河川名	川上川(1工区)		
川上川外砂防設備修繕工事(補助)			
図名	構造図(2/2)		
位置	東伯郡湯梨浜町川上		
縮尺	図示	単位	M・MM
図号	全10葉中の内4		
令和8年度施行			
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

※A3版縮小率50%

施工計画図 (※参考図扱い)

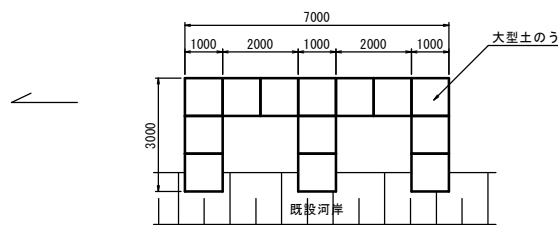
平面図

S=1:500

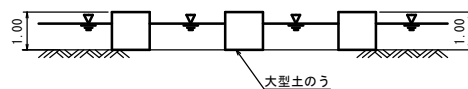


沈砂池 S=1:100

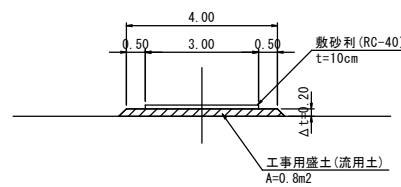
平面図



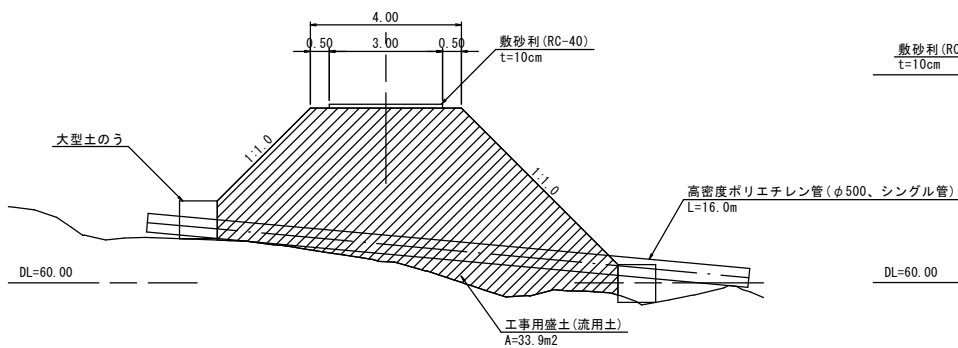
縦断面図



工事用道路標準断面



A-A' 断面図

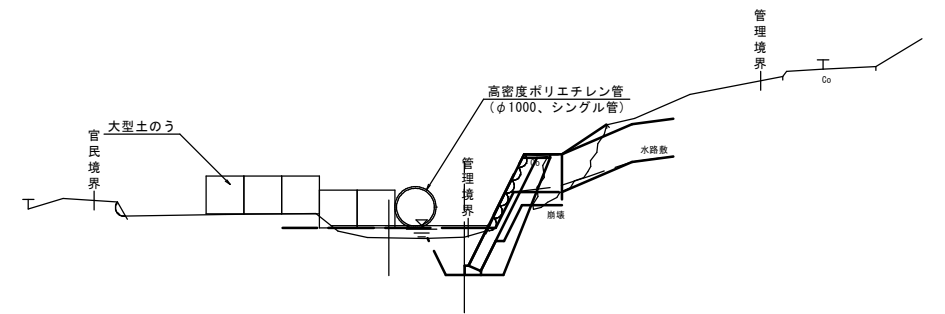


横断面図

S=1:100

ANO. 3

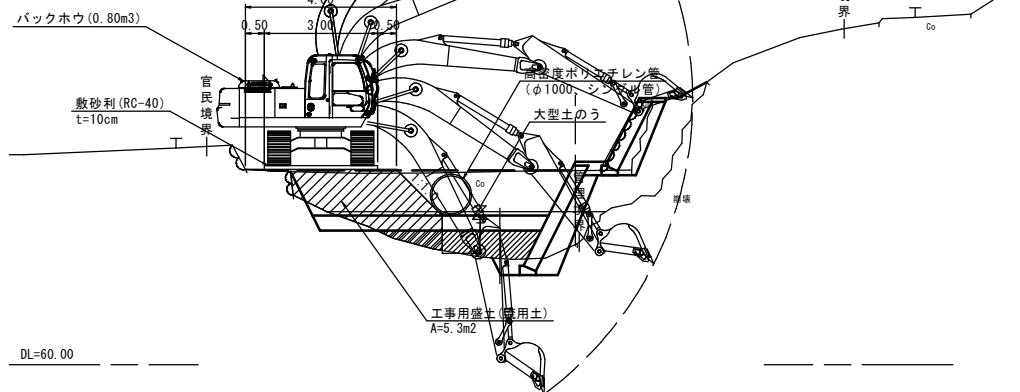
GH=64.89
FH=65.14



DL=60.00

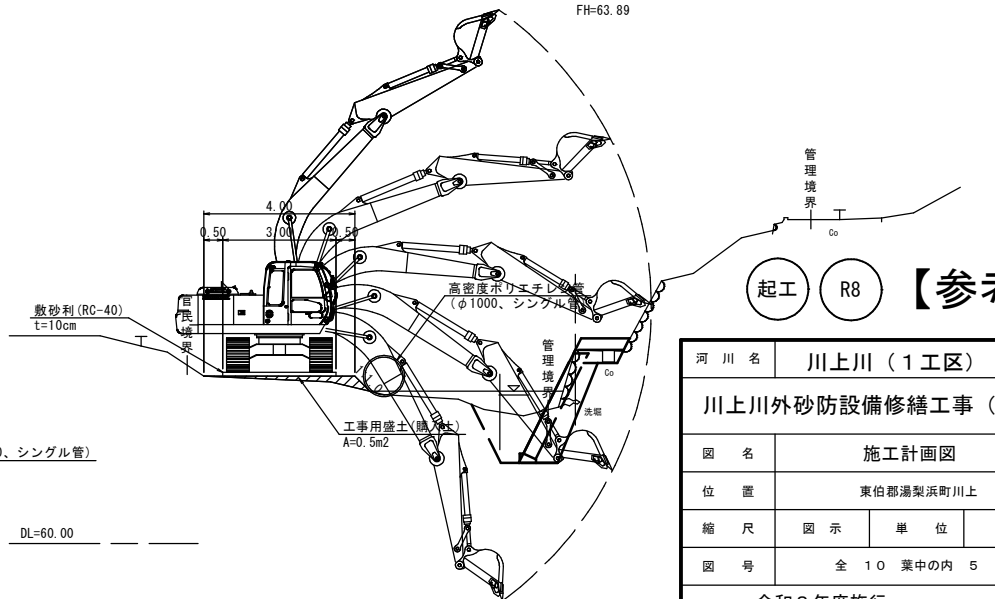
ANO. 2

GH=65.14
FH=63.95



ANO. 0

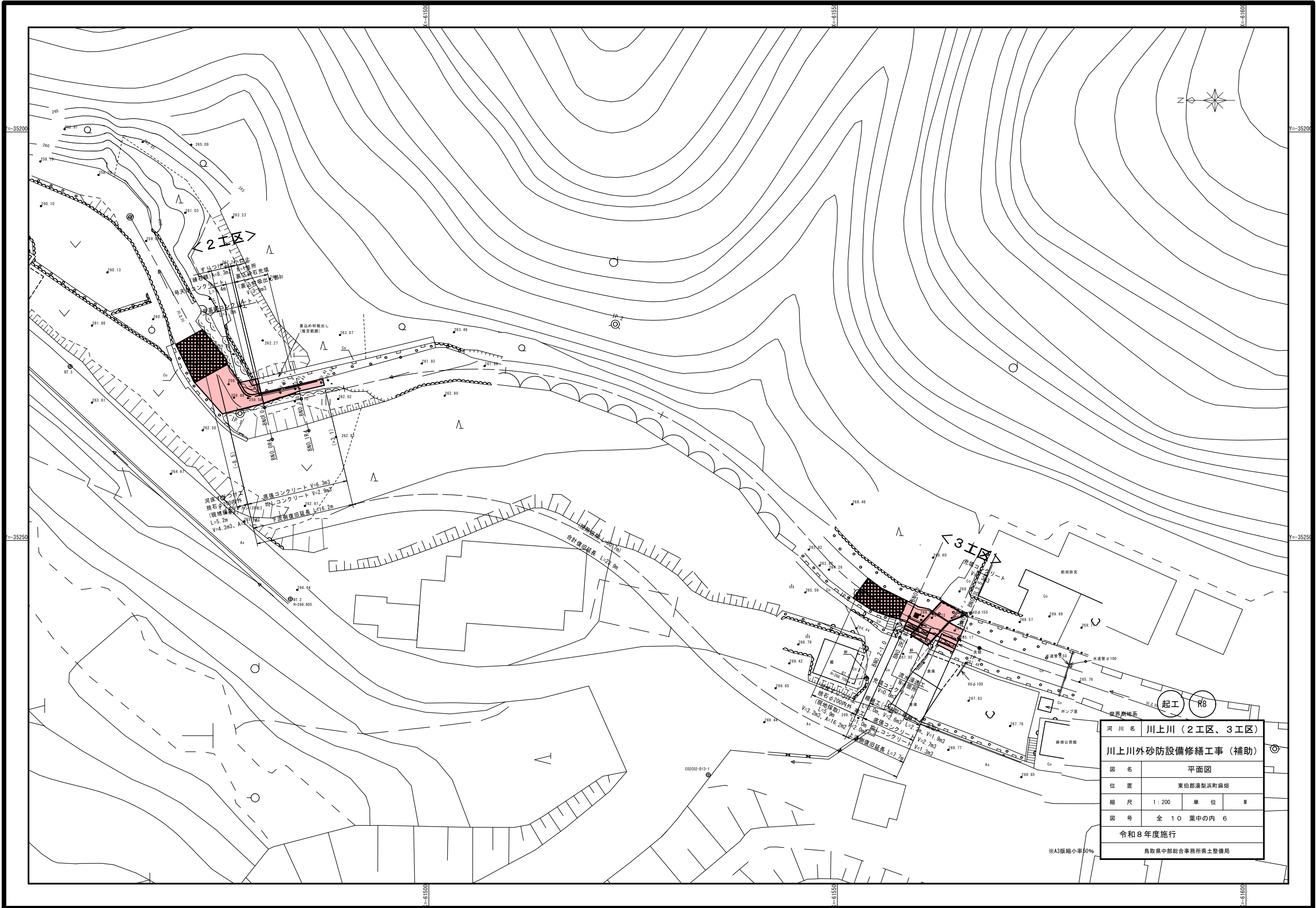
GH=65.13
FH=63.89



起工 R8 【参考図】

河川名	川上川 (1工区)		
川上川外砂防設備修繕工事 (補助)			
図名	施工計画図		
位置	東伯郡湯梨浜町川上		
縮尺	図示	単位	M
図号	全 10 葉中の内 5		
令和 8 年度施行			
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

※A3版縮小率50%

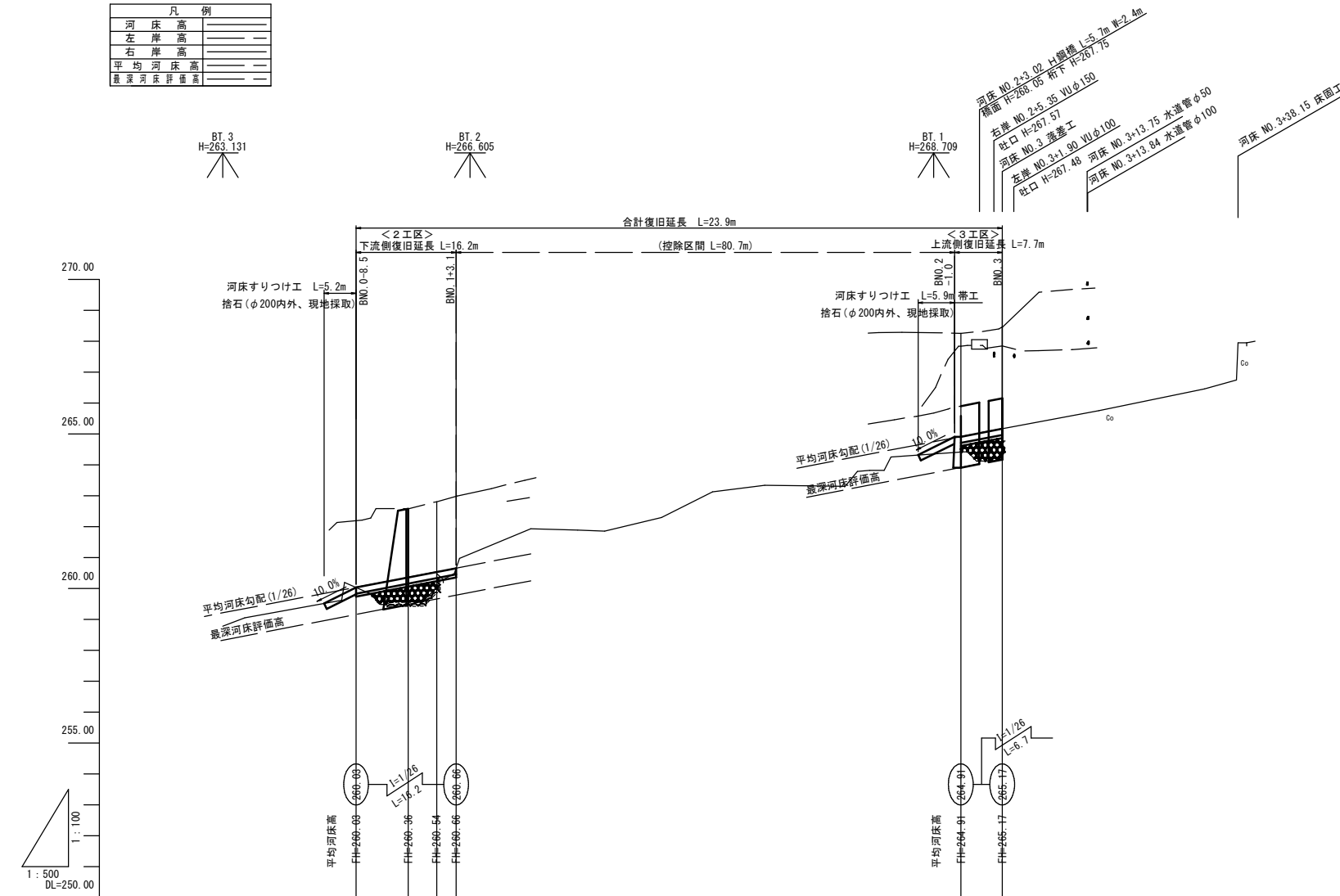


河川名	川上川 (2区、3区)		
川上川外砂防設備修繕工事 (補助)			
図名	平面図		
位置	東伯郡湯梨浜町麻畑		
縮尺	1 : 200	単位	M
図号	全 10 葉中の内 6		
令和 8 年度施行			
※A3版縮小率50% 鳥取県中部総合事務所県土整備局			

縦断面図

V=1:100
H=1:500

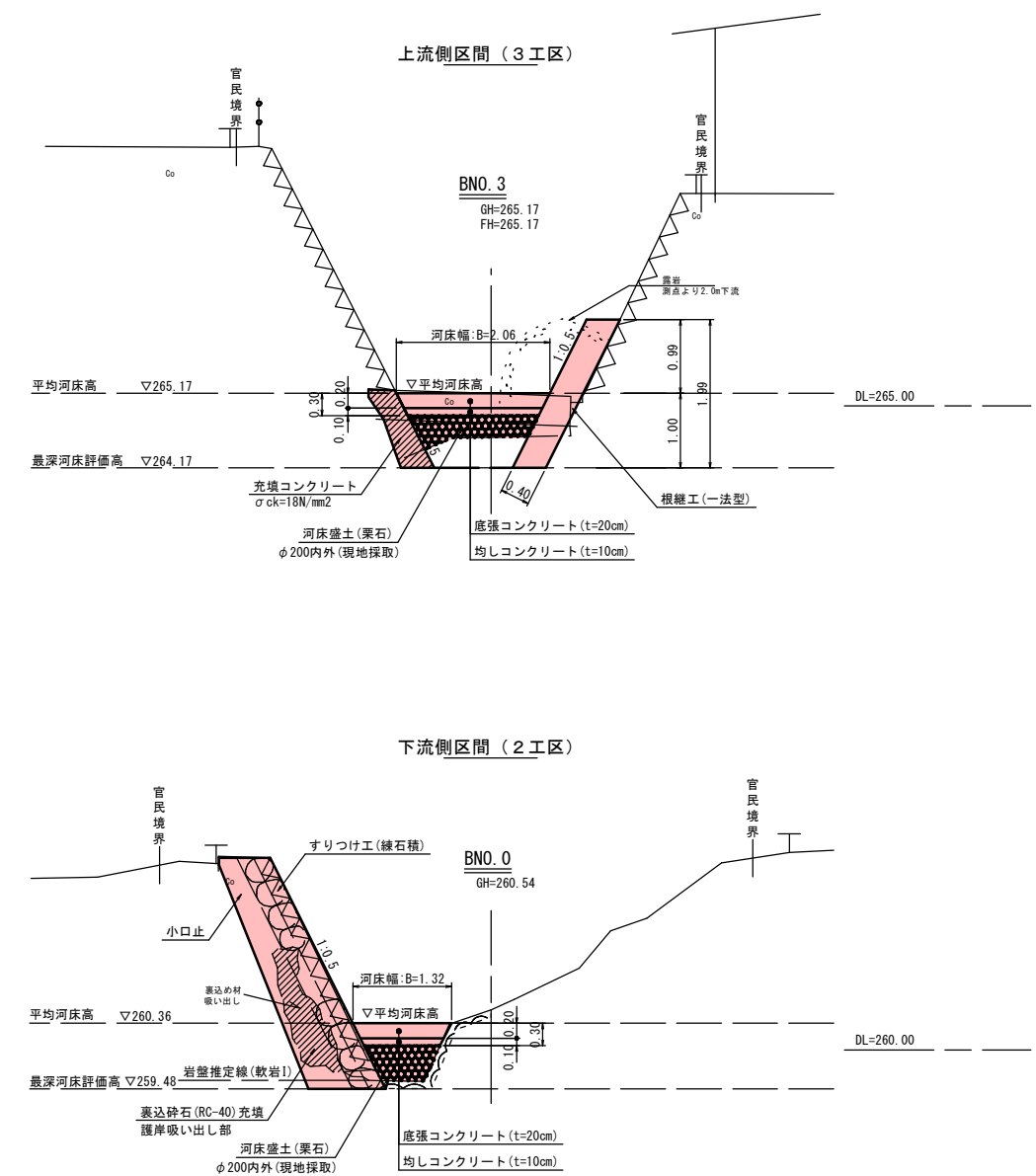
凡例	
河床高	—
左岸高	—
右岸高	—
平均河床高	—
最深河床高	—



計画	勾配	1/26	
	左岸護岸高		
右岸護岸高			
基礎高			
現況	左岸護岸高		
	右岸護岸高		
	河床高		
追加距離			
単距離			
測点			

標準断面図

S=1:50

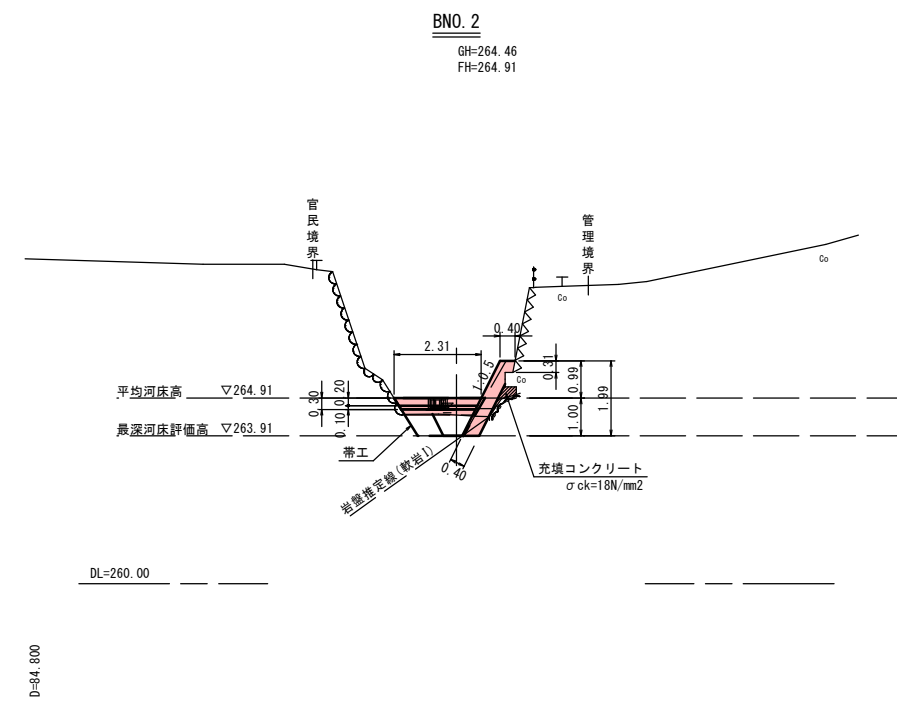
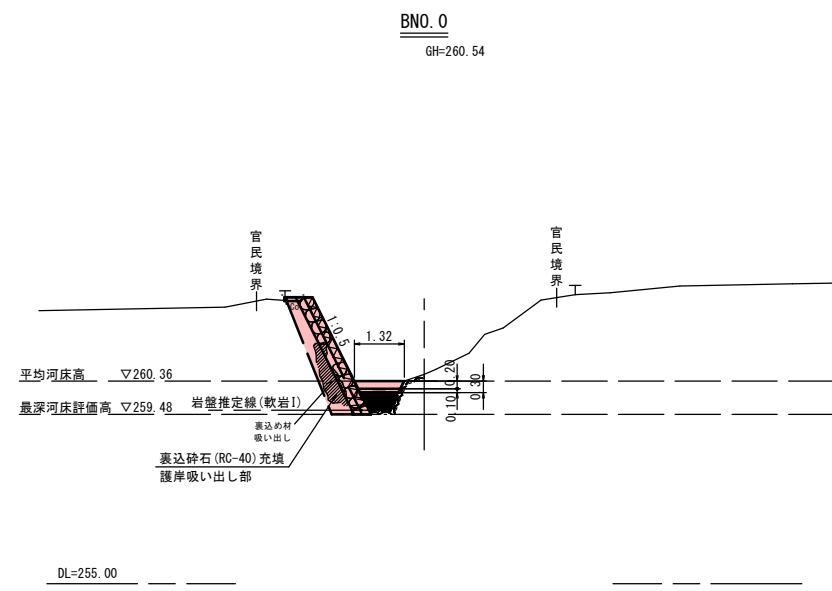
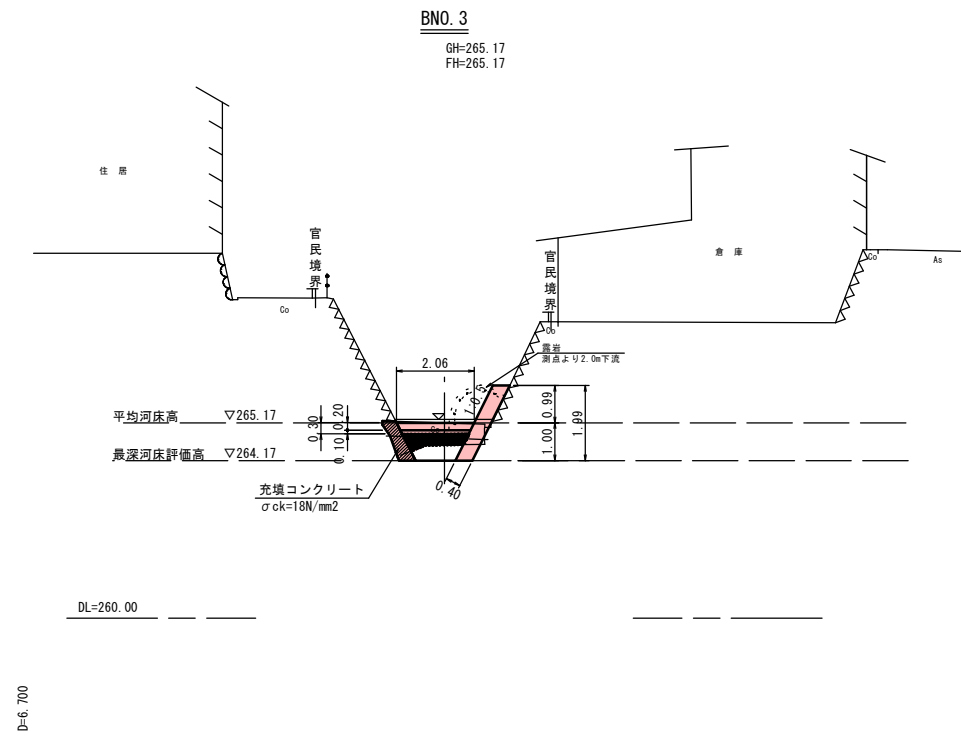
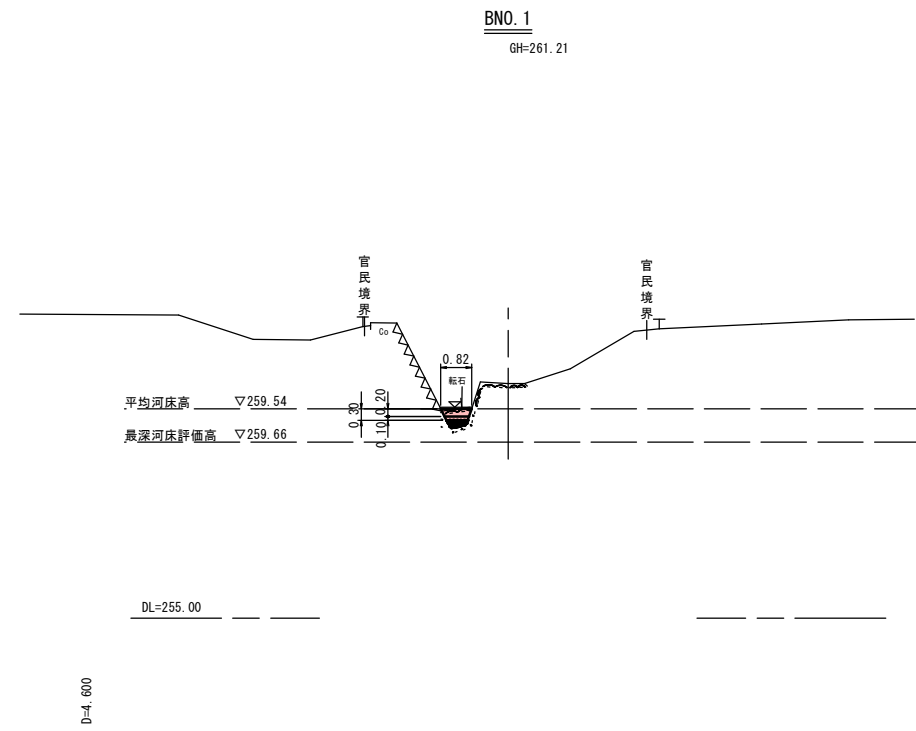


起工 R8

河川名	川上川 (2工区、3工区)		
川上川外砂防設備修繕工事 (補助)			
図名	縦断面図・標準断面図		
位置	東伯郡湯梨浜町麻畑		
縮尺	図示	単位	M
図号	全 10 葉中の内 7		
令和8年度施行			
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

※A3版縮小率50%

横断面図
S=1:100



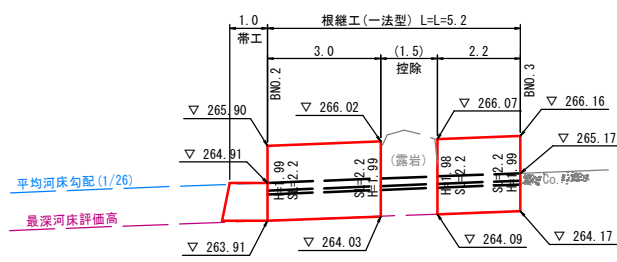
起工 R8

河川名	川上川 (2工区、3工区)		
川上川外砂防設備修繕工事 (補助)			
図名	横断面図		
位置	東伯郡湯梨浜町麻畑		
縮尺	1:100	単位	M
図号	全 10 葉中の内 8		
令和 8 年度施行			
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

※A3版縮小率50%

根継工展開図

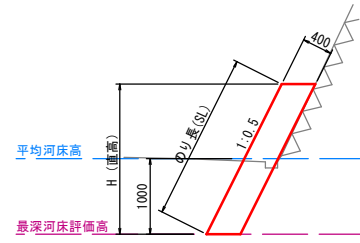
S=1:100



DL=260.00

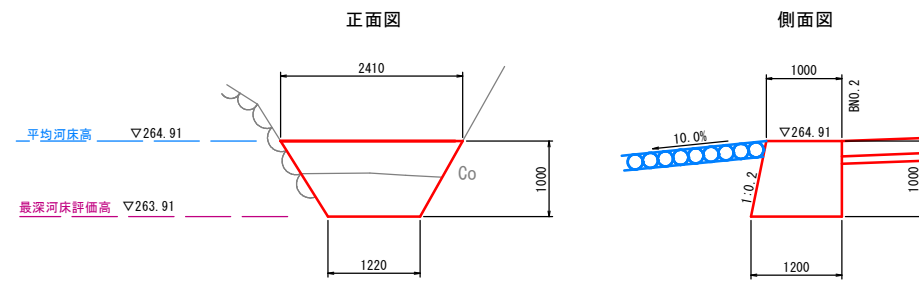
根継工標準図

S=1:50



帯工寸法図

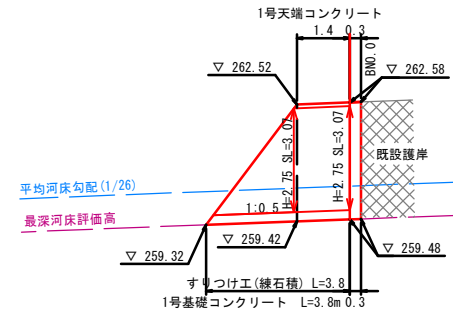
S=1:50



※帯工は左右の既設護岸に確実に密着させるものとし、正面寸法は既設護岸の状況に応じて調整すること

すりつけ工(練石積)展開図

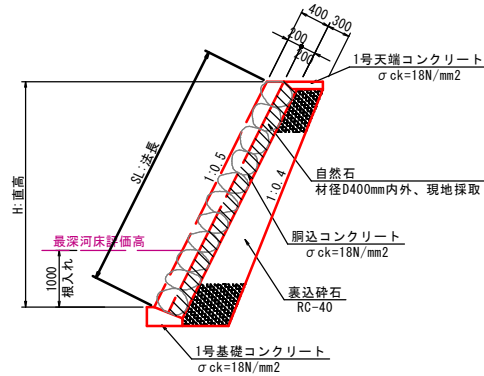
S=1:100



DL=255.00

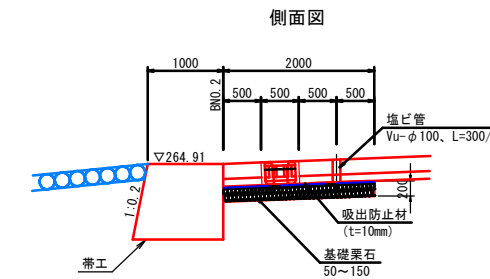
練石積標準図(すりつけ工)

S=1:50

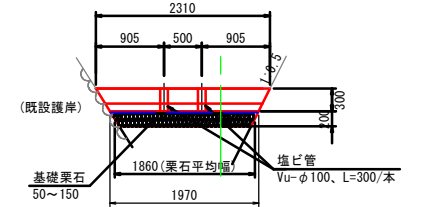


流水浸透工

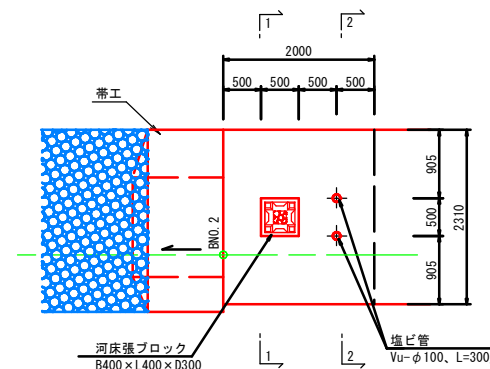
S=1:50



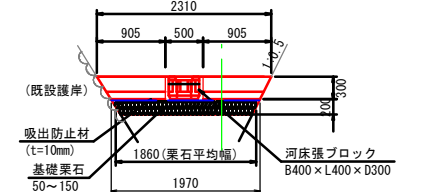
2-2



平面図

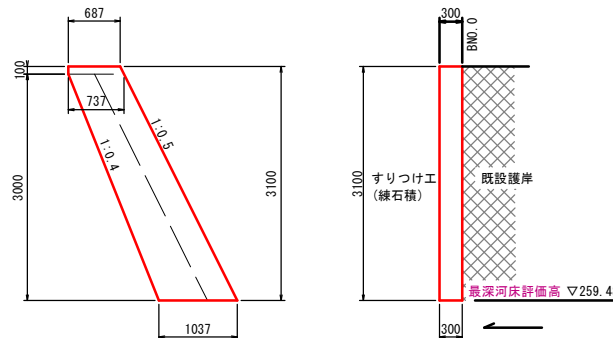


1-1



小口止 (B.N.O.0)

S=1:50

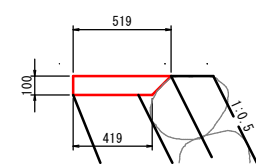


材料表

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.820
型枠	小型	m2	3.802

1号天端コンクリート

MW3 S=1:20

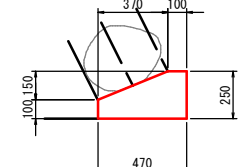


材料表

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.469
型枠	小型	m2	1.000
目地	t=10mm	m2	0.047

1号基礎コンクリート

MW3 S=1:20



材料表

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.898
型枠	小型	m2	3.500
目地	t=10mm	m2	0.090

材料表

名称	規格	単位	数量
河床張ブロック	B400×L400×D300	個	1.000
堆ビ管	Vu-φ100	m	0.600
吸出防止材	t=10mm	m2	3.940
基礎裏石	50~150, t=200	m2	3.720
型枠	小型	m2	1.200

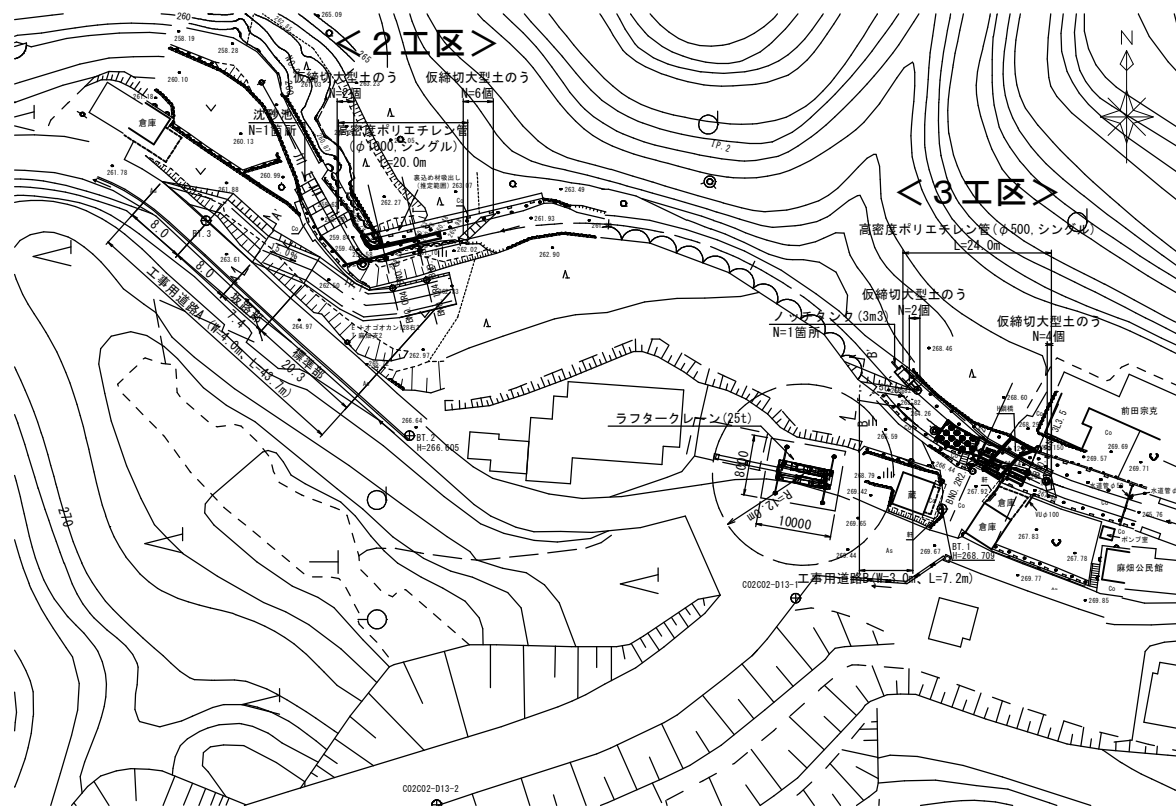
起工 R8

河川名	川上川 (2工区、3工区)		
川上川外砂防設備修繕工事 (補助)			
図名	構造図		
位置	東伯郡湯梨浜町麻畑		
縮尺	図示	単位	M・MM
図号	全 10 葉中の内 9		
令和8年度施行			
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

※A3版縮小率50%

平面図

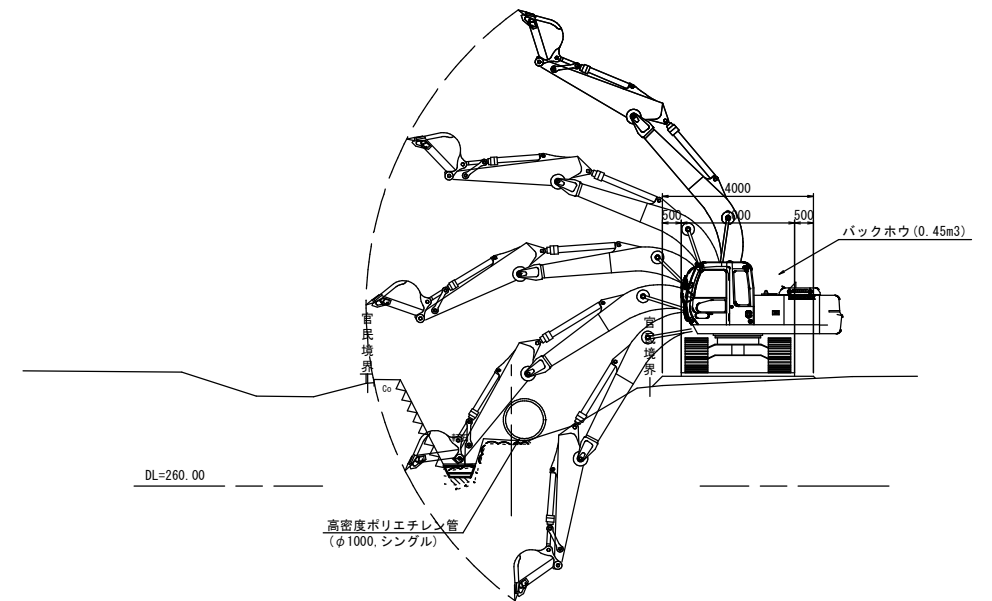
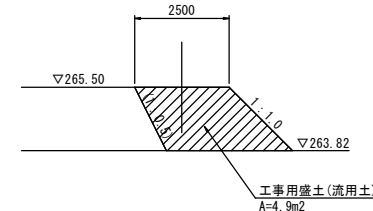
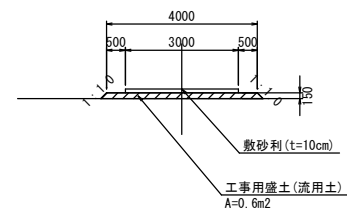
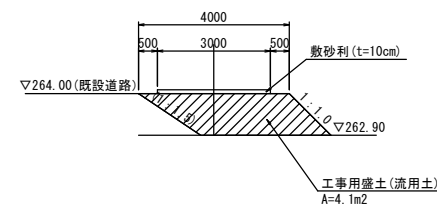
S=1:500



施工計画図

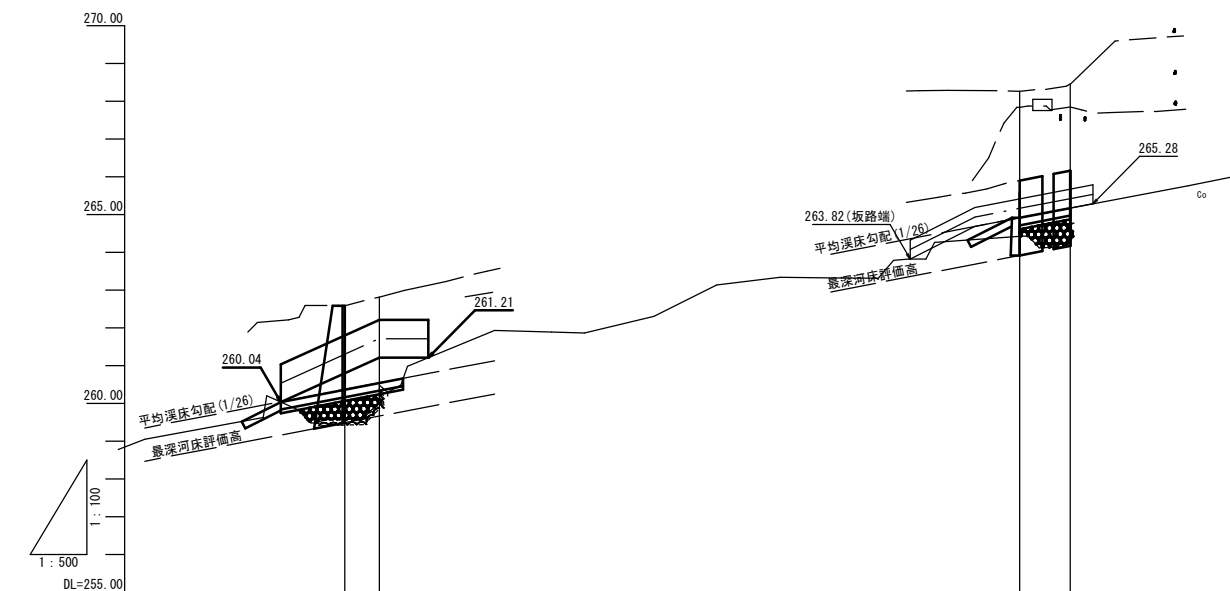
横断面図

S=1:100



縦断面図

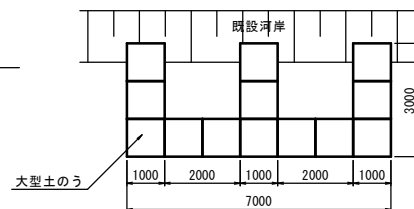
V=1:100
H=1:500



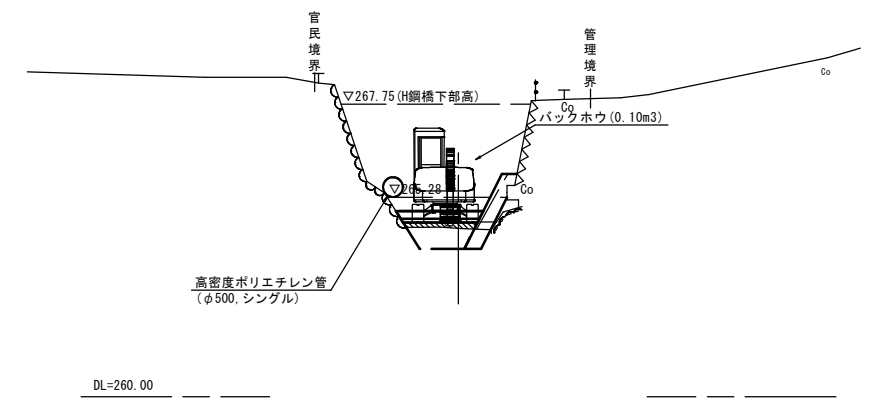
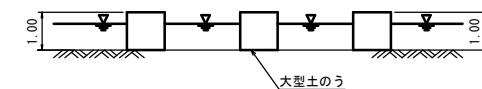
追加距離	0.000	4.600	89.400	96.100
単距離	0.000	4.600	84.800	6.700
測点	B.M. 0	B.M. 1	B.M. 2	B.M. 3

沈砂池 S=1:100

平面図



縦断面図

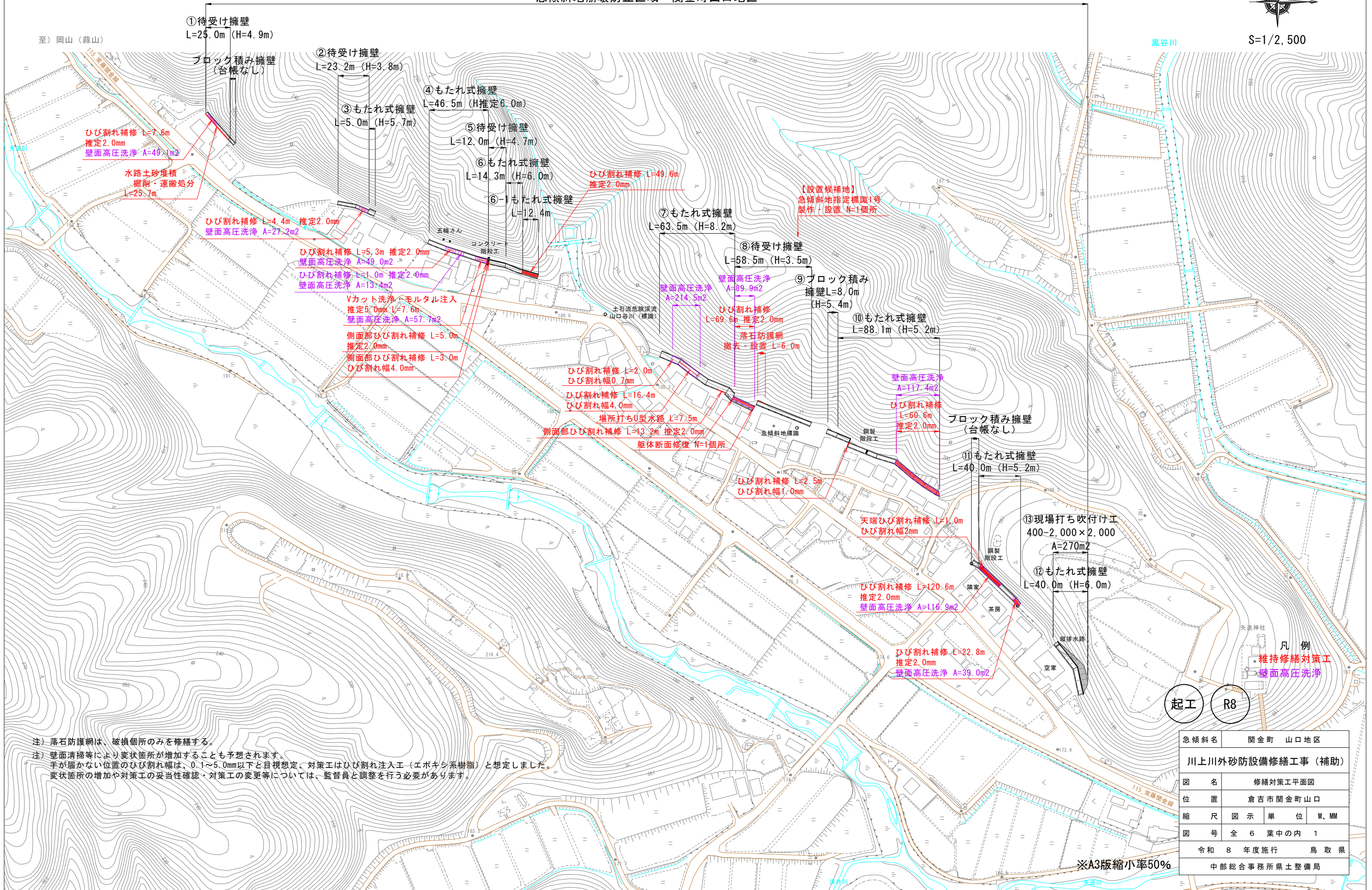
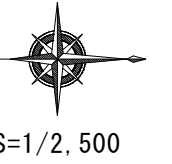


起工 R8

河川名	川上川 (2工区、3工区)		
川上川外砂防設備修繕工事 (補助)			
図名	施工計画図		
位置	東伯郡湯梨浜町麻畑		
縮尺	図示	単位	M
図号	全 10 葉中の内 10		
令和 8 年度施行			
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

※A3版縮小率50%

修繕対策工平面図
急傾斜地崩壊防止区域 関金町山口地区



注) 落石防護網は、破損個所のみを修繕する。
 注) 壁面清掃等により変状箇所が増加することも予想されます。
 手が届かない位置のひび割れ幅は、0.1~5.0mm以下と目視想定、対策工はひび割れ注入工（エポキシ系樹脂）と想定しました。
 変状箇所の増加や対策工の妥当性確認・対策工の変更等については、監督員と調整を行う必要があります。

凡例
 ● 維持修繕対策工
 ○ 壁面高圧洗浄

起工 R8

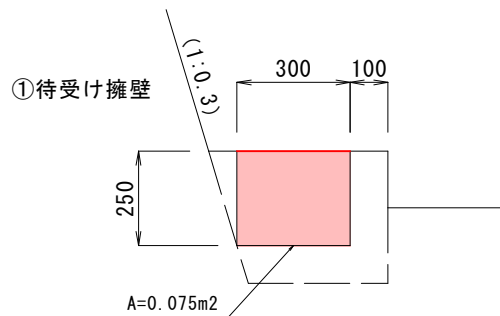
急傾斜名	関金町 山口地区
川上川外砂防設備修繕工事（補助）	
図名	修繕対策工平面図
位置	倉吉市関金町山口
縮尺	図示 単位 M、MM
図号	全 6 葉中の内 1
令和 8 年度施行	鳥取県
中部総合事務所土整備局	

※A3版縮小率50%

関金町山口地区 構造図 (1/2)

砂防施設①待受け擁壁
土砂掘削・処分

B300×H250mm S=1:10

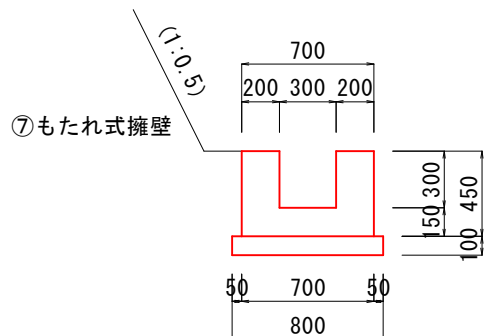


10.0m当り

名称	規格	単位	数量
掘削	土砂 人力	m3	0.75
積み込み・運搬		m3	0.75
残土処分		m3	0.75

砂防施設⑦もたれ式擁壁
場所打ちU型水路

B300×H300mm S=1:20



10.0m当り

名称	規格	単位	数量
コンクリート	18-8-40	m3	2.250
型枠	小構造物	m2	18.000
基礎碎石	t=10cm RC-40	m2	8.000

【取壊し・設処分】

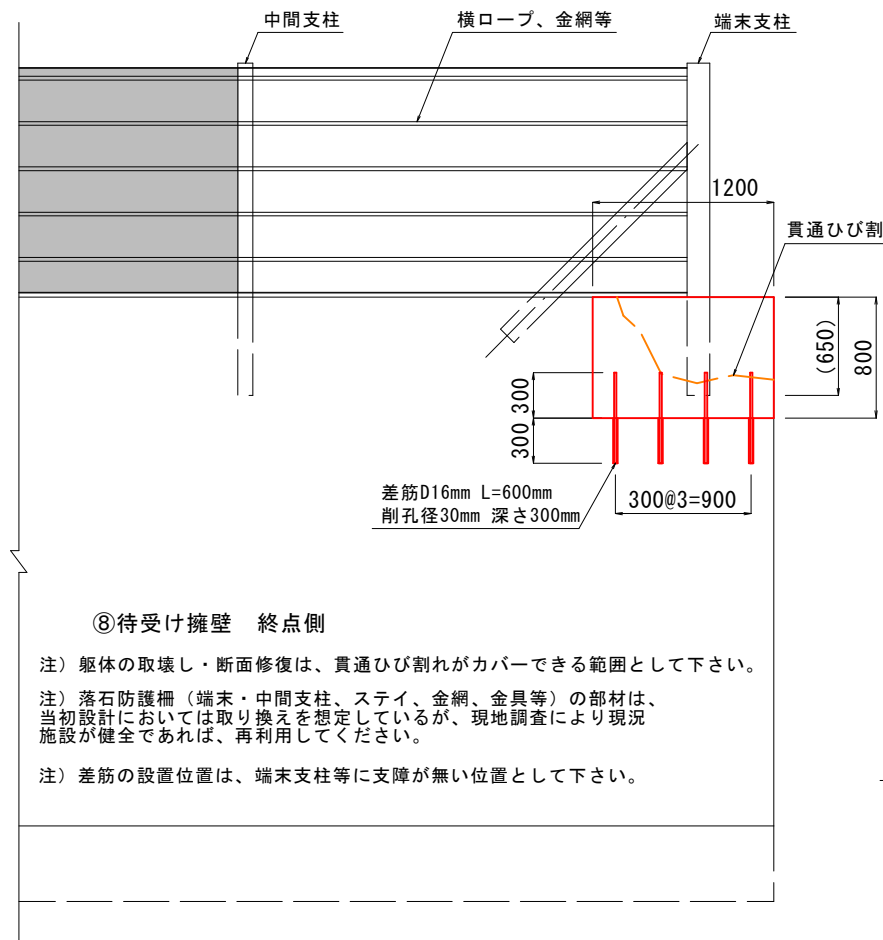
10.0m当り

名称	規格	単位	数量
取壊し	人力、無筋コンクリート	m3	2.250
運搬処理		t	5.288

注) 底版厚と基礎碎石厚は、推定にて作図している。

砂防施設⑧待受け擁壁
躯体断面修復

S=1:25



⑧待受け擁壁 終点側

注) 躯体の取壊し・断面修復は、貫通ひび割れがカバーできる範囲として下さい。
注) 落石防護柵(端末・中間支柱、ステイ、金網、金具等)の部材は、当初設計においては取り換えを想定しているが、現地調査により現況施設が健全であれば、再利用してください。
注) 差筋の設置位置は、端末支柱等に支障が無い位置として下さい。

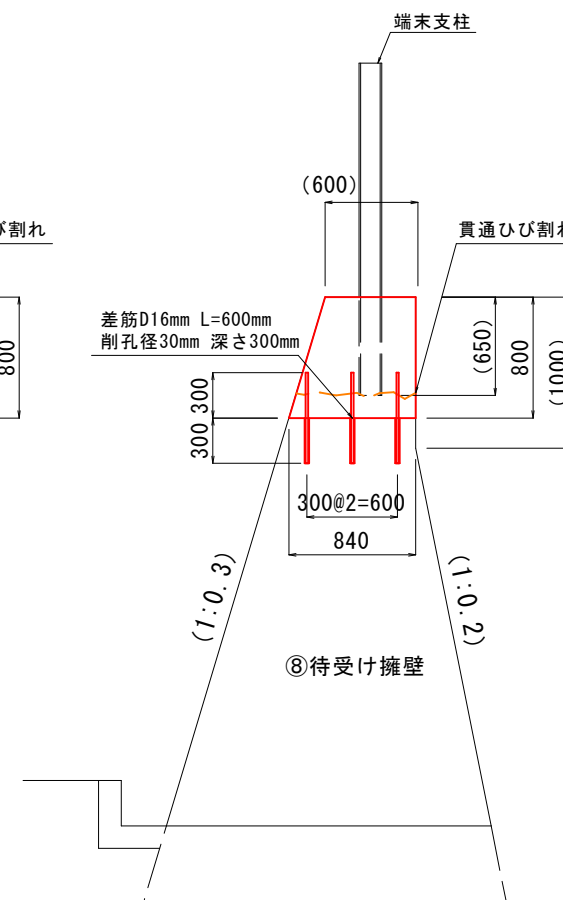
1個所当り

名称	規格	単位	数量
コンクリート	18-8-40	m3	0.691
型枠	小構造物	m2	2.538
差筋	D16mm L=600mm	本	12.000
削孔	削孔径30mm 深さ300mm 電動ハンマドリル	箇所	12.000
コンクリート用 接着剤	玉砕キヤン樹脂系 1kgセット 参考:ポンドFE200	セット	1.000

【取壊し・設処分】

1個所当り

名称	規格	単位	数量
取壊し	人力、無筋コンクリート	m3	0.691
運搬処理		t	1.624



注) 躯体寸法は想定であるため、着工後再調査を行うこと。

起工 R8

急傾斜名	関金町山口地区
川上川外砂防設備修繕工事(補助)	
図名	構造図(1/2)
位置	倉吉市 関金町 山口
縮尺	図示 単位 M、MM
図号	全 6 葉中の内 2
令和 8 年度施行	鳥取県
中部総合事務所 土整備局	

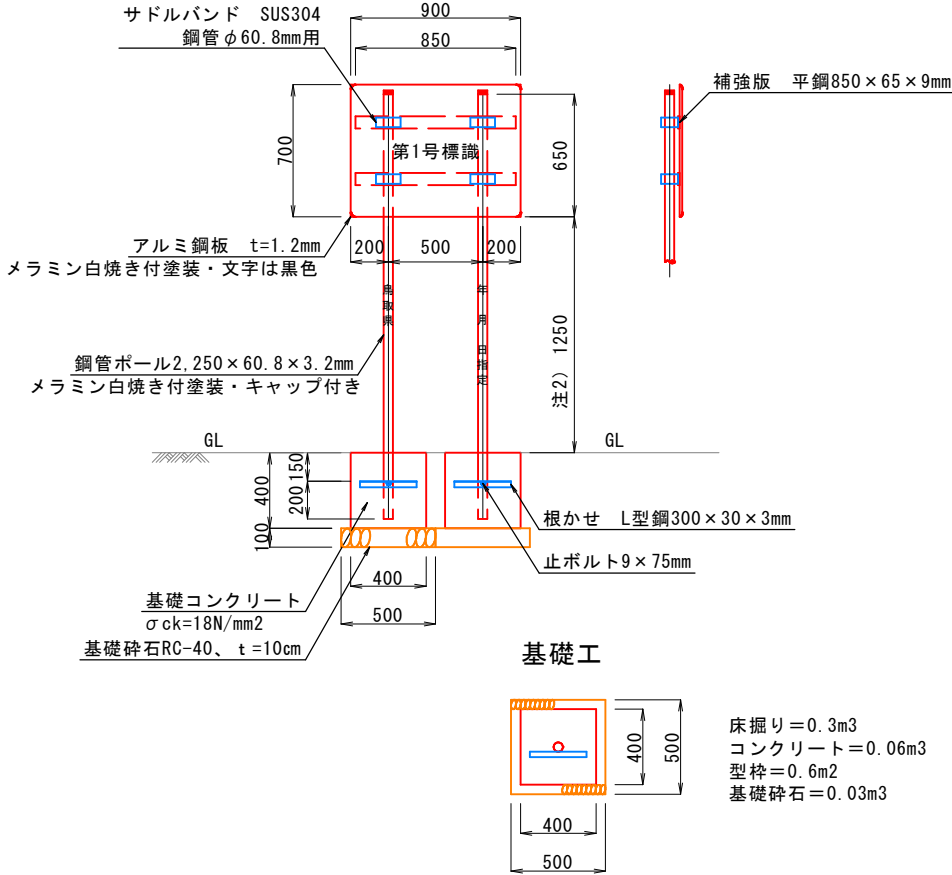
※A3版縮小率50%

関金町山口地区 構造図 (2/2)

急傾斜指定地 標識規格図

S=1:20

第1号標識規格図



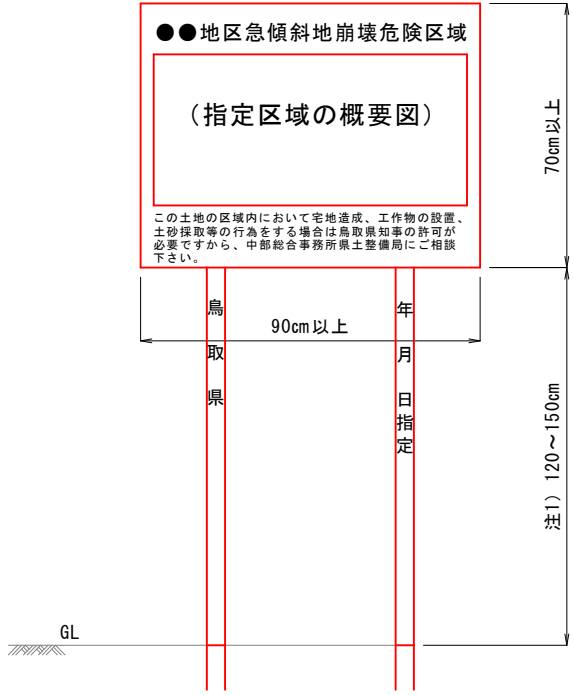
数量表：急傾斜地 指定標識1号 1個所当り

名称	規格	単位	数量
アルミ鋼板	B900×H700mm t=1.2mm	枚	1
補強版	平鋼 t=9mm	枚	2
サドルバンド	SUS304 鋼管φ60.8mm用	個	4
止め金具	サドルバンド用	個	8
鋼管ポール	φ48.6mm L=2.25m	本	2
根かせ	L形鋼 300×30×3mm	本	2
止ボルト	9×75mm	個	2.0
【基礎工】			
床掘り	土砂	m3	0.6
コンクリート	18N/mm2	m3	0.12
型枠	小型構造物	m2	1.20
基礎碎石	RC-40 t=10cm	m3	0.06

注) 標識板や支柱には、別途「概要図」「注意書き」「鳥取県」「指定年月日」等を記載する必要があります。

急傾斜地【指定】標識1号 製作・設置

S=1:10



- 注) 標識板の設置高さは1.2m以上とし、設置する現場状況を考慮して、設定高さを決定すること。
- 注) 標識板記載内容のレイアウト等は、製作前に発注者に確認すること。

起工 R8

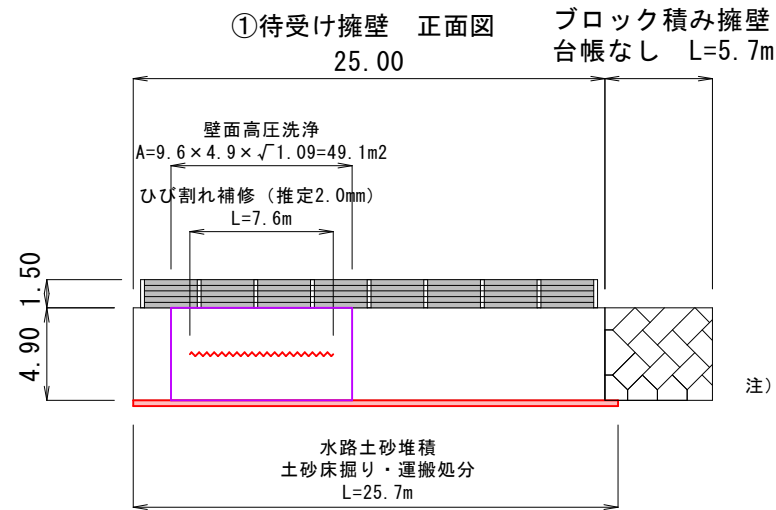
急傾斜名	関金町山口地区		
川上川外砂防設備修繕工事(補助)			
図名	構造図(2/2)		
位置	倉吉市	関金町	山口
縮尺	図示	単位	M、MM
図号	全 6	葉中の内	3
令和 8 年度施行	鳥取県		
中部総合事務所県土整備局			

※A3版縮小率50%

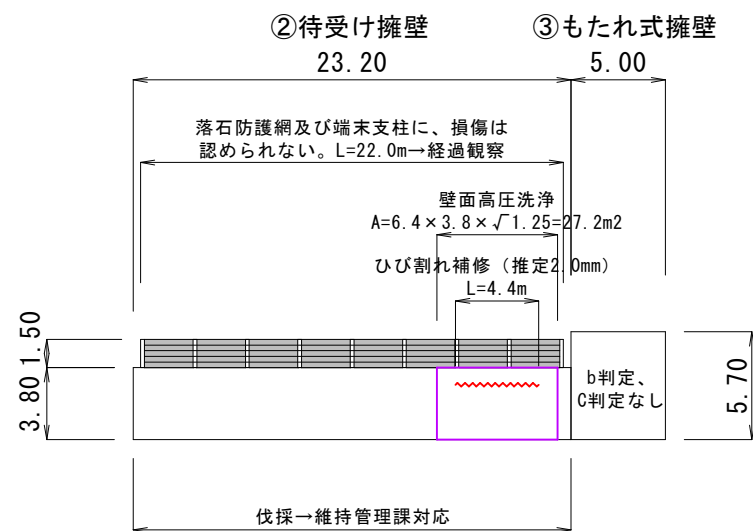
急傾斜地崩壊対策施設修繕 関金町山口地区

補修詳細図 (1/3)

S=1/200



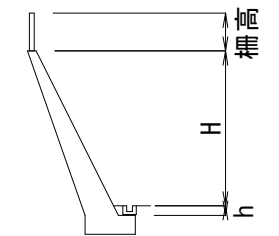
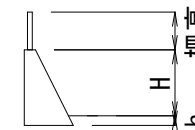
注) 待受け擁壁のひび割れ補修延長は、表面×2 (裏面) として計上することを基本とするが、施設①の背後は地形状況より困難と推測されるため、表面のみを計上する。



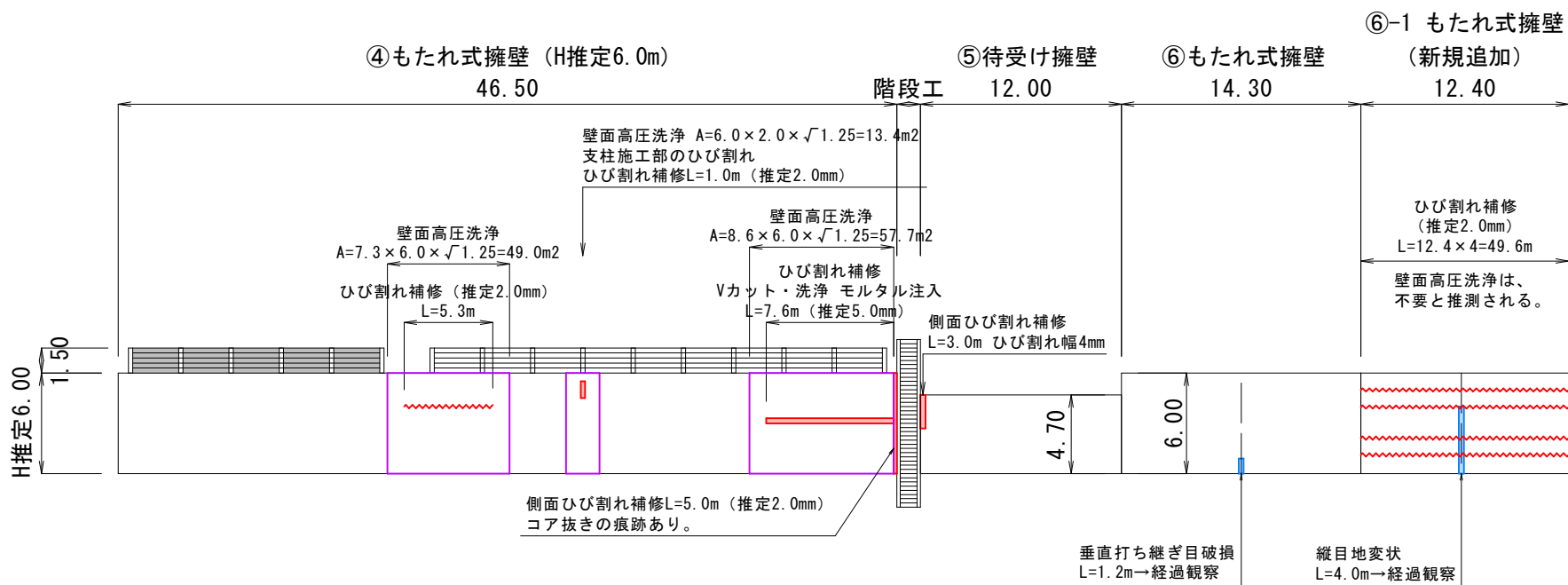
注) 待受け擁壁のひび割れ補修延長は、表面×2 (裏面) として計上することを基本とするが、施設②の背後は地形状況より困難と推測されるため、表面のみを計上する。

もたれ式擁壁 断面図

待受け擁壁 断面図



注) 砂防点検に記載された各構造物の高さHに、根入れhは含まれていないと推測しています。



注) 各正面図等は、砂防点検資料から作図した概略図です。

注) 壁面清掃等により変状箇所が増加することも予想されます。変状箇所の増加や対策工の妥当性確認・対策工の数量変更等については、監督員と調整を行う必要があります。

※A3版縮小率50%

- 凡例
- 維持修繕対策工
 - 伐採
 - 壁面高圧洗浄 (人力)
 - 経過観察 (参考添付)

起工 R8

急傾斜名	関金町 山口地区		
川上川外砂防設備修繕工事 (補助)			
図名	補修詳細図 (1/3)		
位置	倉吉市関金町山口		
縮尺	図示	単位	M、MM
図号	全 6 葉中の内 4		
令和 8 年度施行	鳥取県		
中部総合事務所 県土整備局			

急傾斜地崩壊対策施設修繕 関金町山口地区

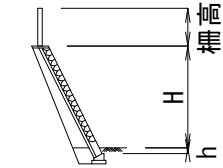
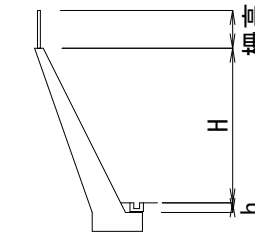
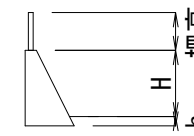
補修詳細図 (2/3)

S=1/200

もたれ式擁壁 断面図

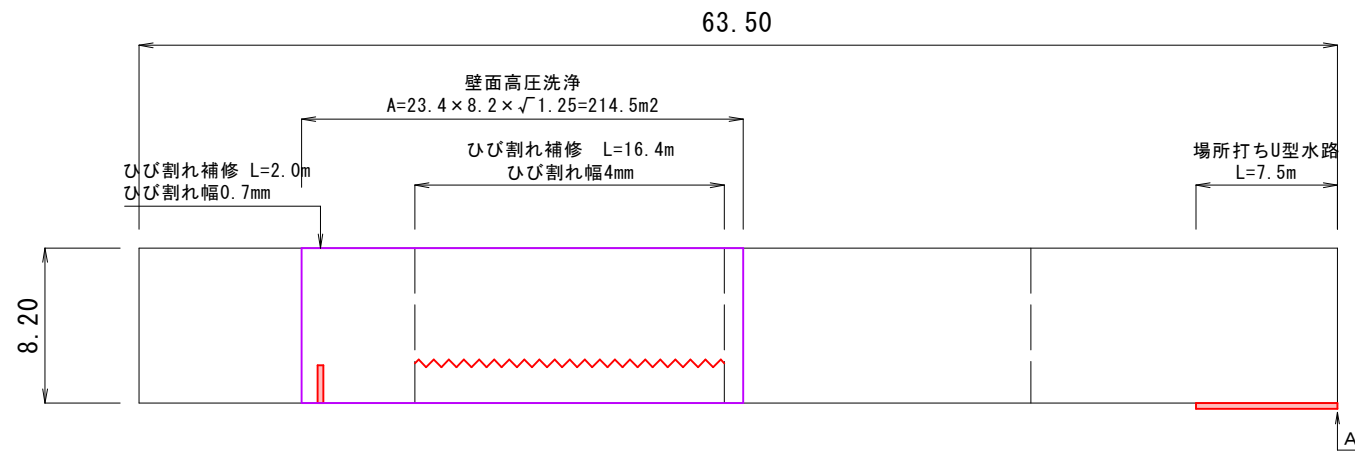
待受け擁壁 断面図

ブロック積み擁壁 断面図

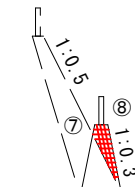


注) 砂防点検に記載された各構造物の高さHに、根入れhは含まれていないと推測しています。

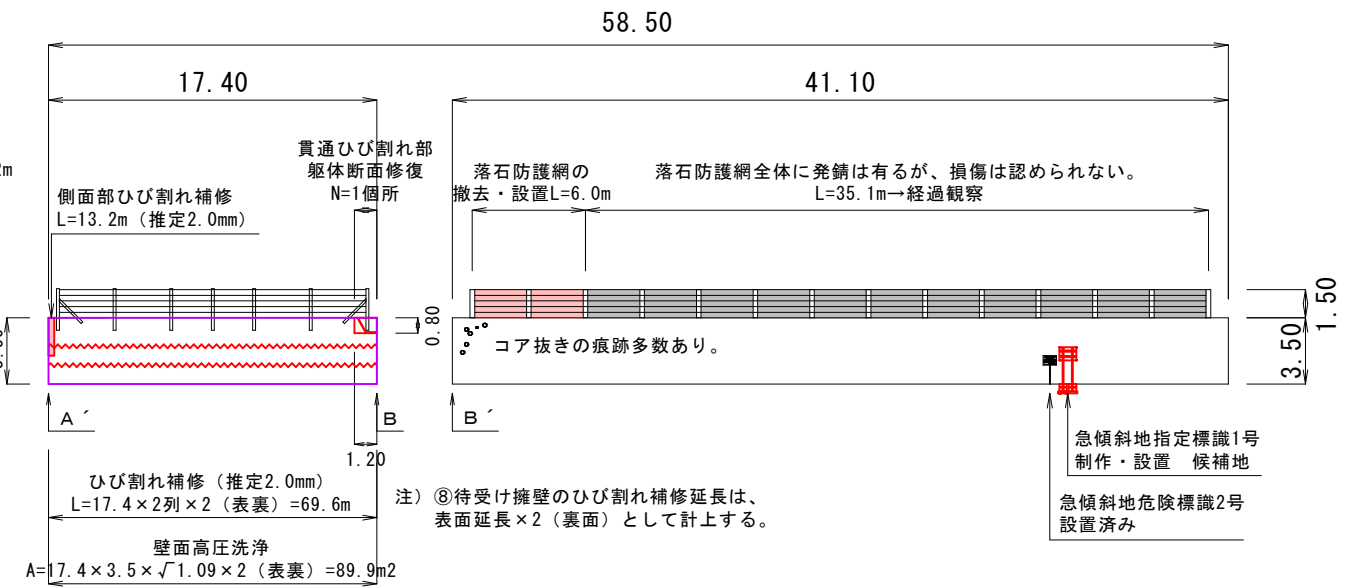
⑦もたれ式擁壁



A~A'断面
側面部のひび割れ延長
平均長×本数
 $0.6 \times 11 + 2.2 \times 3 = 13.2\text{m}$

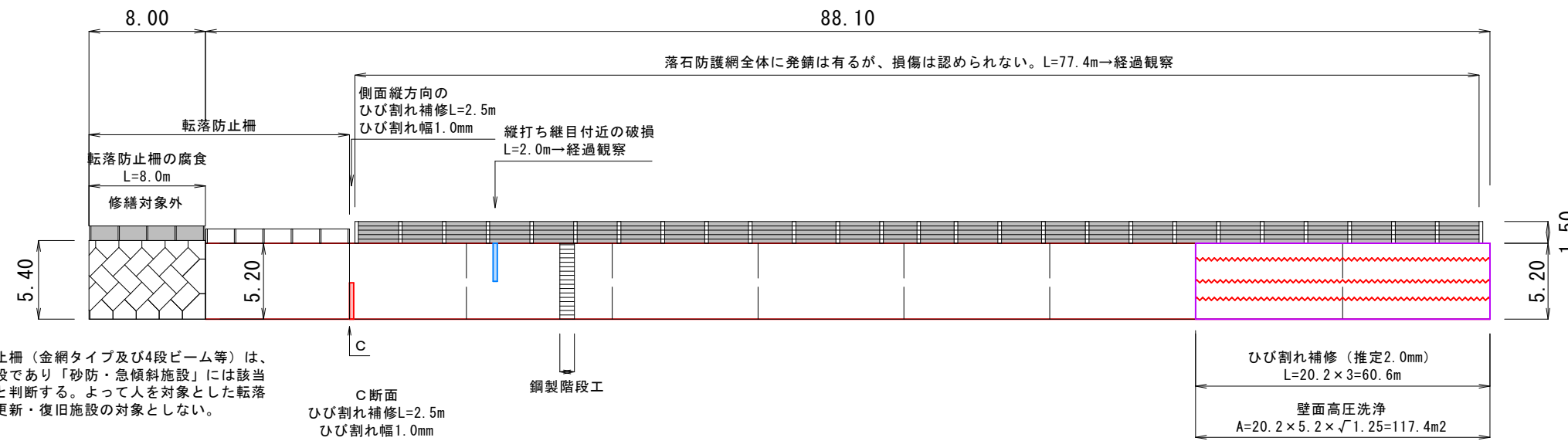


⑧待受け擁壁



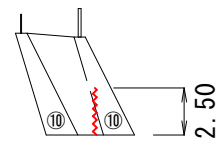
注) ⑧待受け擁壁のひび割れ補修延長は、表面延長×2 (裏面) として計上する。

⑨ブロック積み擁壁 正面図

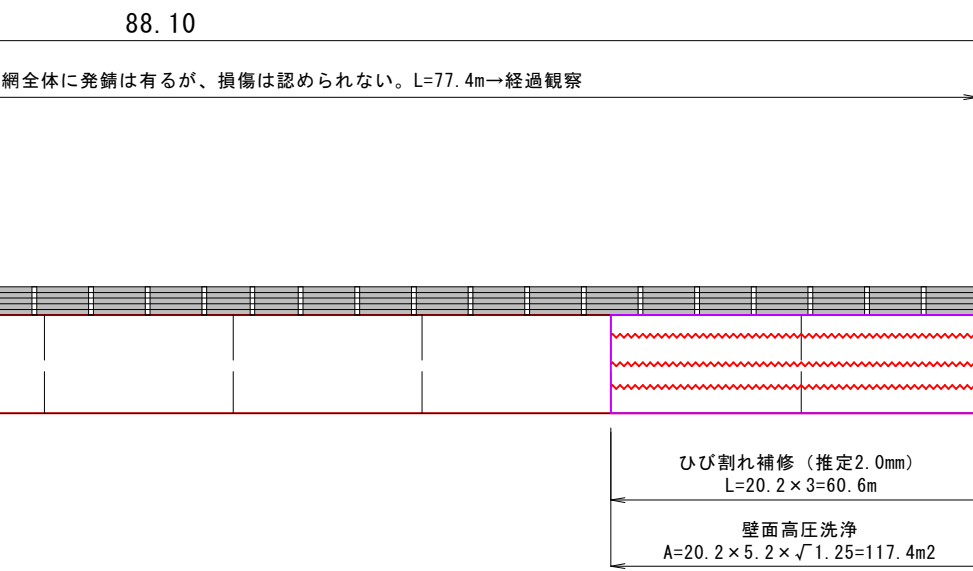


注) 人の転落防止柵 (金網タイプ及び4段ビーム等) は、機能回復施設であり「砂防・急傾斜施設」には該当しないものと判断する。よって人を対象とした転落防止柵は、更新・復旧施設の対象としない。

C断面
ひび割れ補修L=2.5m
ひび割れ幅1.0mm



⑩もたれ式擁壁 正面図



注) 各正面図等は、砂防点検資料から作図した概略図です。

注) 壁面清掃等により変状箇所が増加することも予想されます。変状箇所の増加や対策工の妥当性確認・対策工の数量変更等については、監督員と調整を行う必要があります。

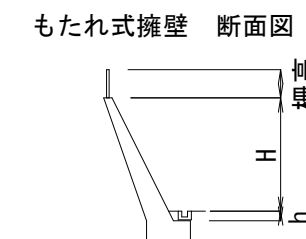
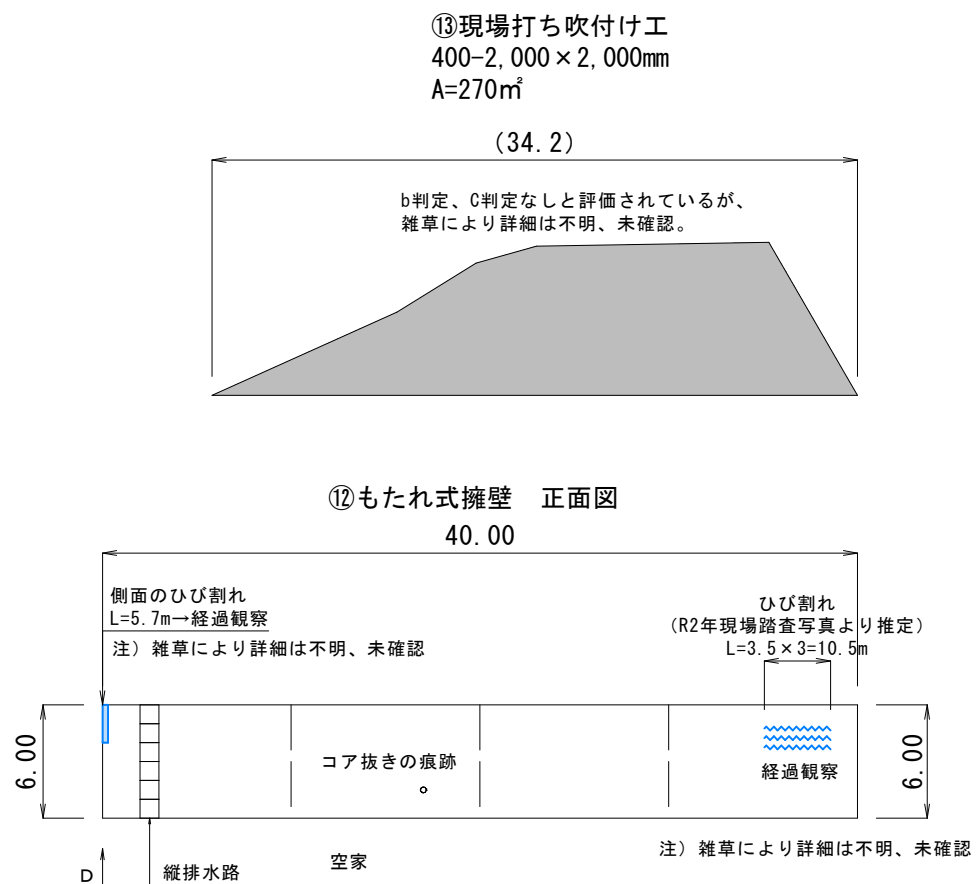
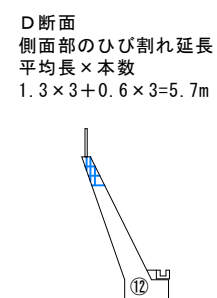
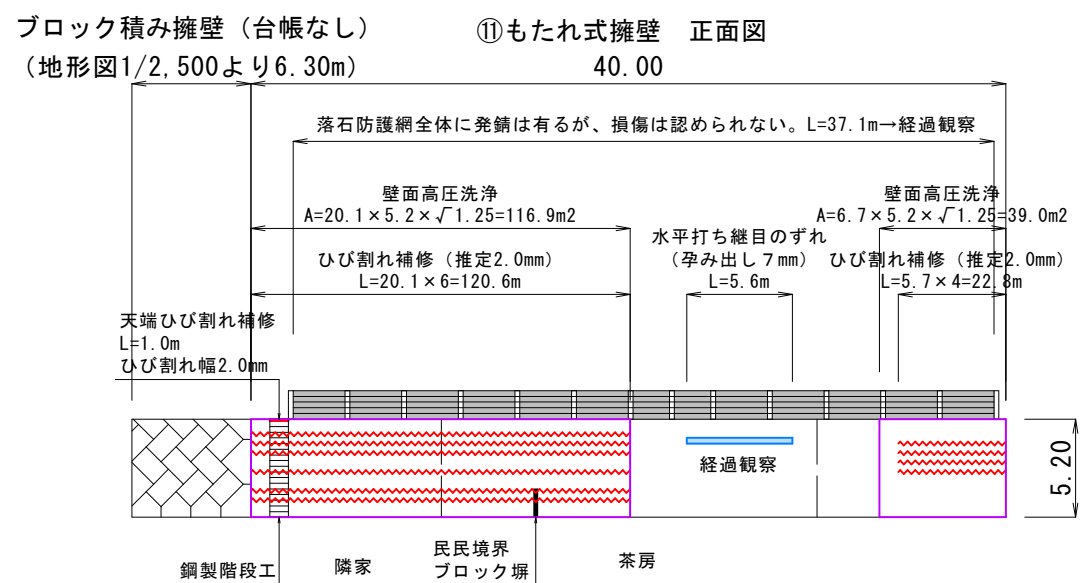
- 凡例
- 維持修繕対策工
 - 伐採
 - 壁面高圧洗浄 (人力)
 - 経過観察 (参考添付)

起工 R8

急傾斜名	関金町 山口地区		
川上川外砂防設備修繕工事 (補助)			
図名	補修詳細図 (2/3)		
位置	倉吉市関金町山口		
縮尺	図示	単位	M、MM
図号	全 6 葉中の内 5		
令和 8 年度施行	鳥取県		
中部総合事務所県土整備局			

※A3版縮小率50%

急傾斜地崩壊対策施設修繕 関金町山口地区
補修詳細図 (3/3) S=1/200



注) 砂防点検に記載された各構造物の高さHに、
根入れhは含まれていないと推測しています。

- 凡例
- 維持修繕対策工
 - 伐採
 - 壁面高圧洗浄 (人力)
 - 経過観察 (参考添付)

起工 R8

急傾斜名	関金町 山口地区		
川上川外砂防設備修繕工事 (補助)			
図名	補修詳細図 (3/3)		
位置	倉吉市関金町山口		
縮尺	図示	単位	M、MM
図号	全 6 葉中の内 6		
令和 8 年度施行	鳥取県		
中部総合事務所県土整備局			

注) 各正面図等は、砂防点検資料から作図した概略図です。

注) 壁面清掃等により変状箇所が増加することも予想されます。
変状箇所の増加や対策工の妥当性確認・対策工の数量変更等については、監督員と調整を行う必要があります。

※A3版縮小率50%